取扱説明書

ご使用の前に
よくお読みください。

ELYSION

リアエンターテインメントシステム

このたびはHonda車をお買い上げいただき、
ありがとうございます。
この取扱説明書は、ELYSION に装備された
リアエンターテインメントシステムの
取り扱いについてのみ説明してあります。
その他の内容についてはELYSION 取扱説明書をご覧ください。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠危険
指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

⚠警告
指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

⚠注意
指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス
お車のために守っていただきたいこと
（車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、
異常事態の処置方法を記載しています）

知 識
知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

もくじ

はじめに
- 各部の名称……2
- リアエンターテインメント システムについて……3
- ご利用になる前に お読みください……4

基本操作
- 電源の入れかた／切りかた……6
- モニターの取り扱いについて……7
- リモコンについて……9
- ヘッドホンの使いかた……14
- リヤスピーカーについて……18

画面を調整する
- 画質を調整する……20
- 画面モードを設定する……24

音場を切り換える
- ヘッドホンモードを設定する……28

設定表示
- 各モードの設定状態を表示する……30

ディスクの取り扱いについて
- ディスクを入れる／取り出す……34
- ディスクの正しい使いかた……35
- 再生できるディスクの 種類について……36
- MP3ファイルについて ……39

ディスクを再生する
- DVDビデオを見る ……42
- 再生モードの切り換え……44
- オーディオCDをきく……52
- MP3ディスクをきく ……54
- 初期設定機能について……61

テレビの操作
- テレビの受信について……74
- テレビを見る……75

ビデオ機器などの接続
- AV入力端子……80

前席のTV／DVD映像を見る
- 前席TV／DVDモード……82

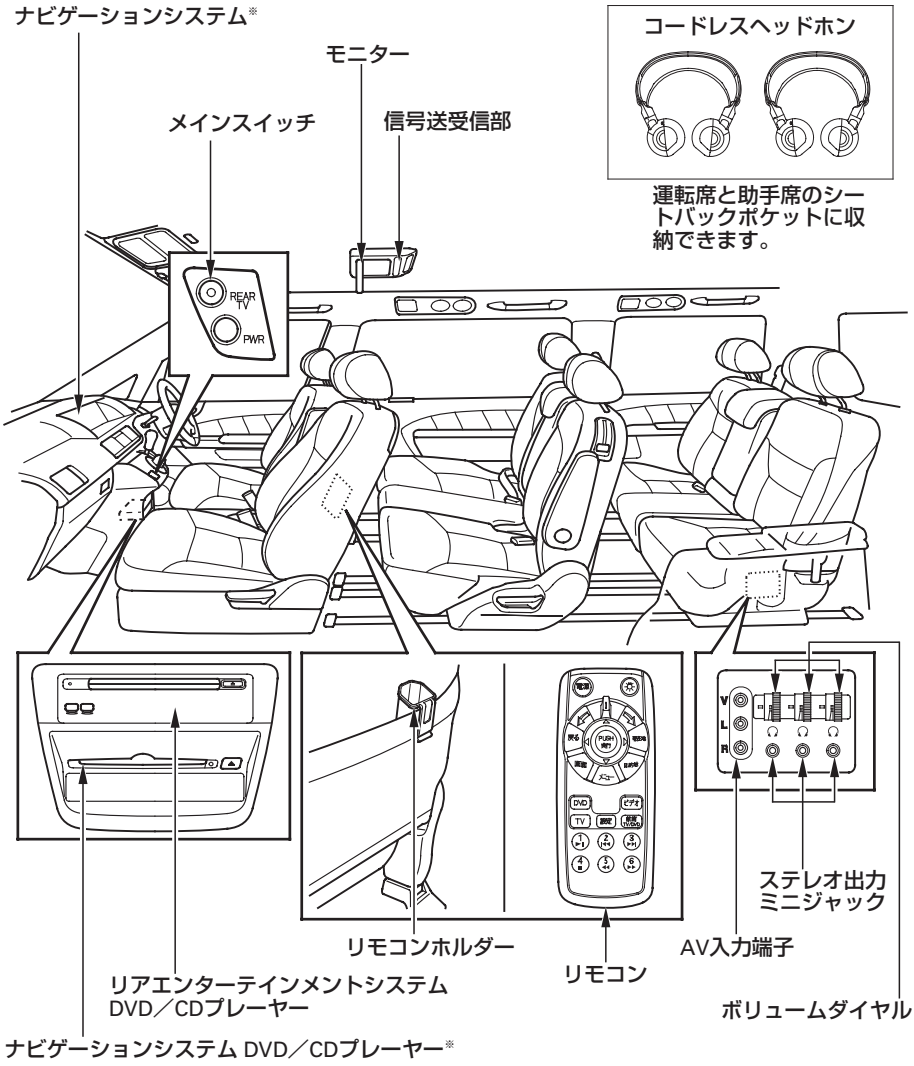
ナビゲーション画面を操作する
- ナビゲーションモード……84

言語コード
- 言語コード一覧表……88

困ったときの手引き……92

はじめに

各部の名称



※：別冊のナビゲーションシステムの取扱説明書をご覧ください。

リアエンターテインメントシステムについて

リアエンターテインメントシステムには以下のモードがあります。音声は付属のコードレスヘッドホンやお手持ちのヘッドホンできくことができます。

●各モードについて

DVDモード

DVDビデオ、オーディオCD、MP3音楽ファイルのディスクを再生することができます。

ディスクを再生する　→42ページ

TVモード

テレビ放送を見ることができます。

テレビの操作　→74ページ

ビデオモード

AV入力端子にビデオ機器やゲーム機などを接続して使用することができます。

ビデオ機器などの接続　→80ページ

前席TV／DVDモード

前席（ナビゲーションシステム）のテレビやDVDビデオの映像を表示することができます。

前席TV／DVDの映像を見る　→82ページ

ナビゲーションモード

ナビゲーションシステムの画面を表示してリモコンで操作することができます。

ナビゲーション画面を操作する　→84ページ

知 識

- リアエンターテインメントシステムの映像は前席（ナビゲーションシステム）に表示することはできません。

ご利用になる前にお読みください

⚠警告

- テレビやDVDビデオなどをを見るために、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしないでください。
  車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

⚠注意

- 運転者は、走行中に操作しないでください。
  前方不注意などにより、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転者は、走行中にヘッドホンを使用しないでください。車外の音が聞こえにくくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- リモコンとヘッドホンに電池を使用しています。電池の液もれ、破裂、発熱、発火などによるけがや、やけどをさけるため、次のことを必ずお守りください。
  - ⊕と⊖の向きを正しく入れる。
  - 指定以外の電池を使わない。
  - 新しい電池と使用した電池、または種類の違う電池を混ぜて使わない。
  - 使い切ったときや、長時間使わないときは電池を取り出す。
  - 乾電池は充電しない。
  - もし、電池の液が漏れたときは、液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

知 識

- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。エンジンを始動してからお使いください。
- 停車してテレビやDVDを見るときは、停車禁止区域外の安全な場所に停車してください。

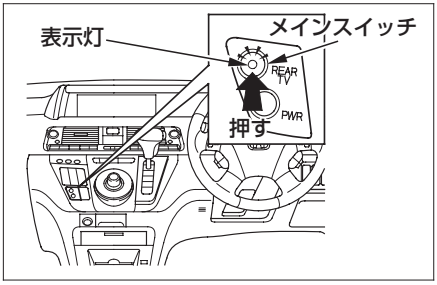
基本操作

電源の入れかた／切りかた

リアエンターテインメントシステムはエンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときにご利用になれます。

●電源の入れかた

①メインスイッチを押してシステムの電源を“ON”にします。
（表示灯点灯）



②モニターを開きます。モニターの電源が自動的に“ON”になります。

メインスイッチが“ON”でモニターの電源が“OFF”のときは、リモコンの電源ボタンを押すとモニターの電源が“ON”になります。

知 識

- メインスイッチが“OFF”のときは、リモコンでの操作ができません。
- メインスイッチが“OFF”のときは、モニターを開いても電源が入りません。

テレビやDVDビデオなどの操作はリモコンで行います。

●電源の切りかた

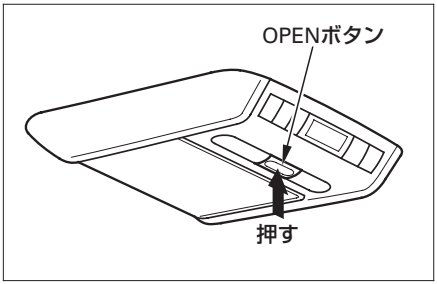
メインスイッチを押してシステムの電源を“OFF”にします。（表示灯消灯）

メインスイッチが“ON”でモニターの電源が“ON”のときは、リモコンの電源ボタンを押すと、モニターの電源が“OFF”になります。
メインスイッチが“ON”でモニターの電源が“ON”のときは、モニターを閉じると、モニターの電源が“OFF”になります。

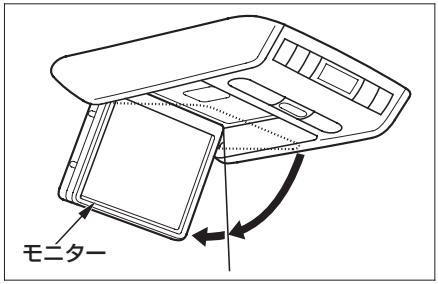
モニターの取り扱いについて

●開けかた

①OPENボタンを押します。
OPENボタンを押すとモニターが開きます。



②モニターを見やすい角度にします。



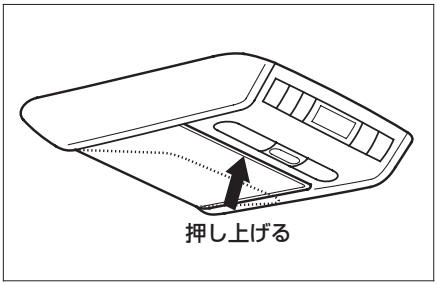
モニターは100°、120°の位置で固定されます。

知 識

●運転者の運転の妨げにならないように、モニターを120°以上開くと、電源が切れます。

●収納のしかた

モニターをロックするまで押し上げます。使用しないときは、モニターを収納してください。



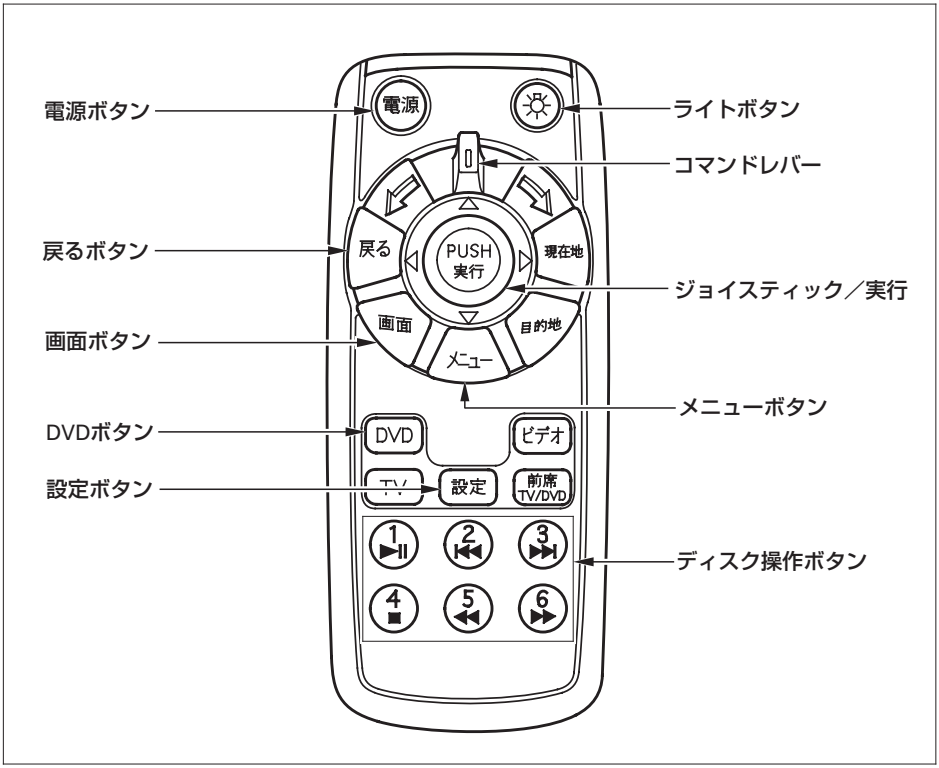
知 識

- 表示部に液晶パネルを採用しているために、極低温のときなど画面が明るくなるまで時間がかかることがあります。
  また、外気温が高いときなどに画面が暗くなることがありますが故障ではありません。
- 画面表示の中には小さな黒点・輝点がありますが、液晶特有の現象で故障ではありません。
- 表示部は汚れやすいので、手で直接触らないでください。
- 表示部は、キズが付きやすいので、手で強く押したり、かたい布などでこすらないでください。
- 表示部の汚れは、柔らかいプラスチックレンズ用メガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。

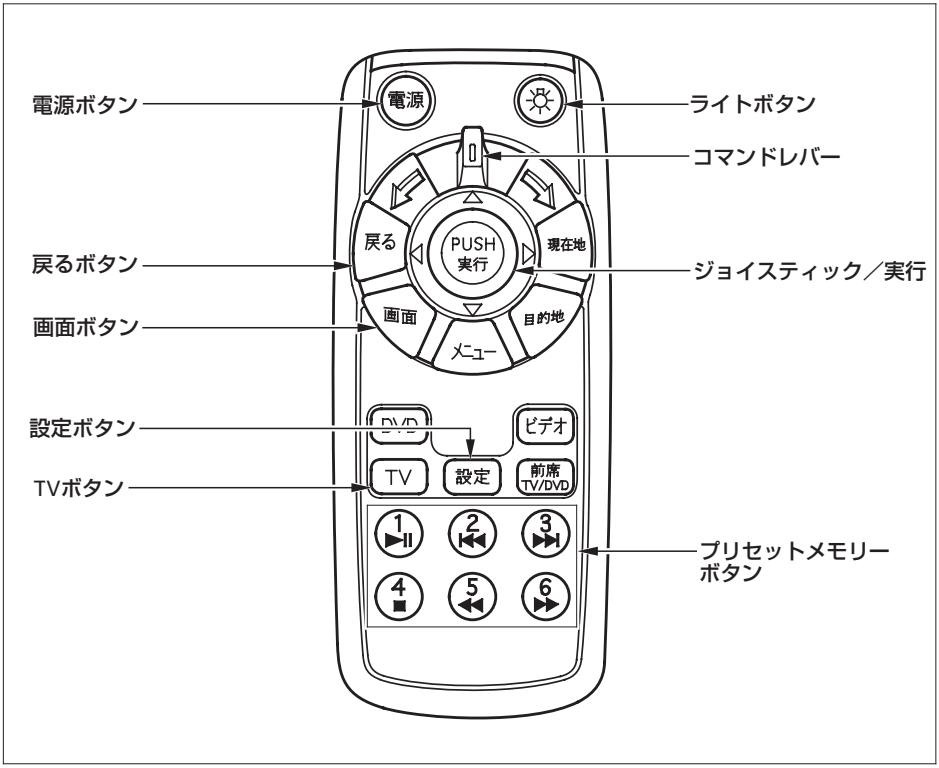
リモコンについて

DVDビデオやテレビなどの操作、モニターの設定などはリモコンで行います。
ライトボタンを押すとリモコンの各ボタンが約10秒間点灯します。夜間など暗いときの操作に便利です。

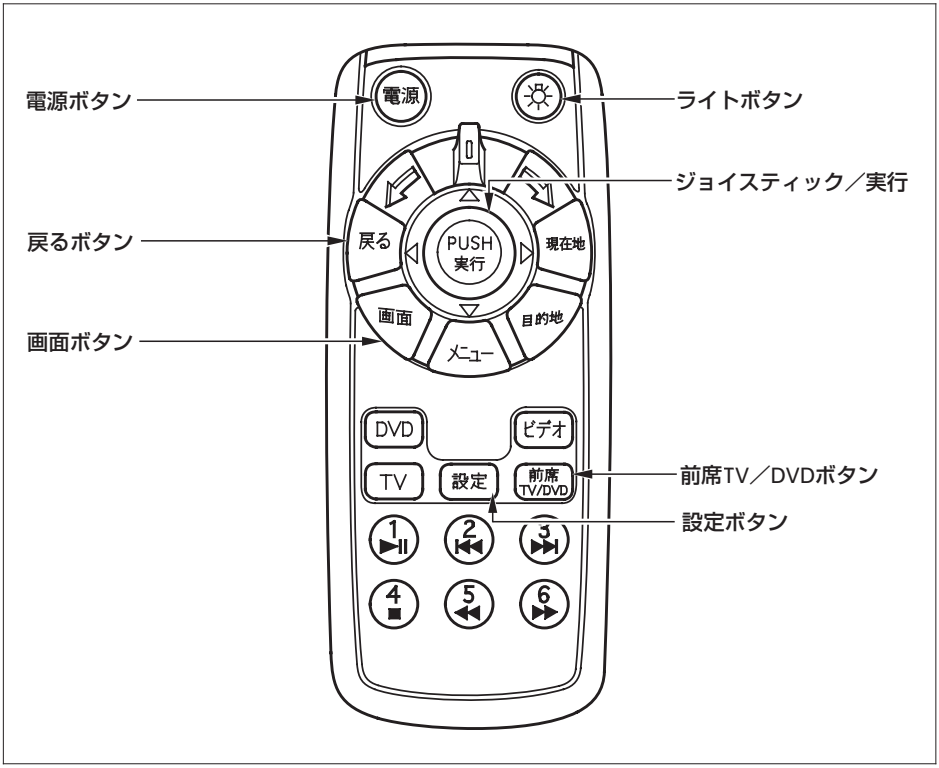
●DVDモードのとき



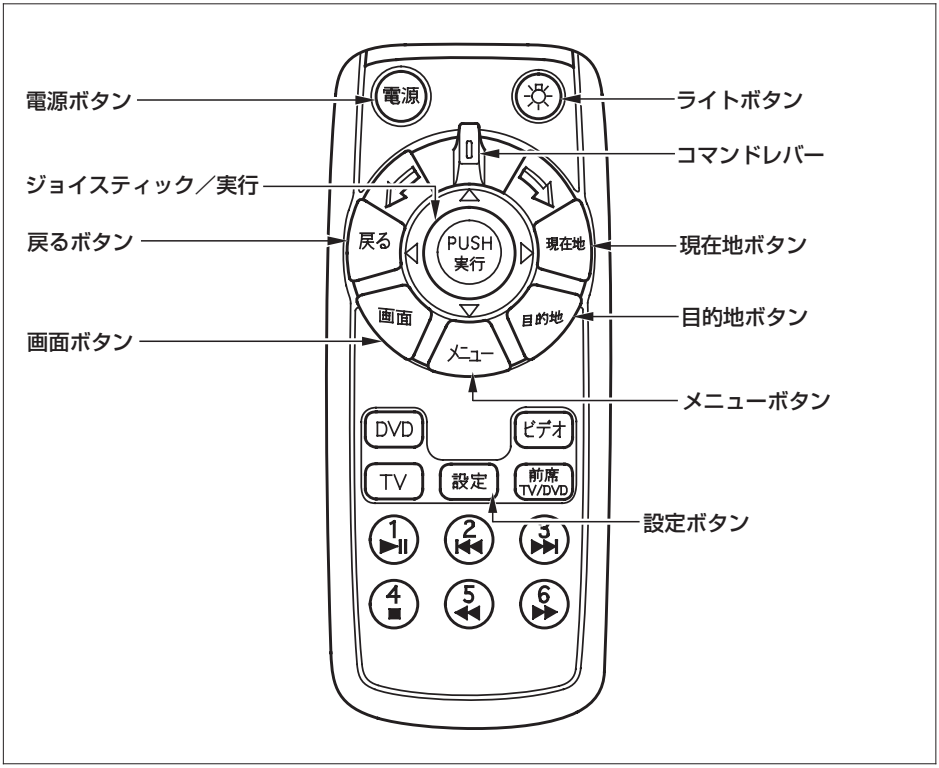
●TVモードのとき


電源ボタン
電源
ライトボタン
コマンドレバー
戻るボタン
戻る
PUSH
実行
現在地
ジョイスティック／実行
画面ボタン
画面
目的地
メニュー
設定ボタン
ビデオ
TVボタン
TV
設定
前席
TV/DVD
プリセットメモリー
ボタン
1
2
3
4
5
6

●前席TV／DVDモードのとき



●ナビゲーションモードのとき



前席操作パネルボタンとの対応　→86ページ

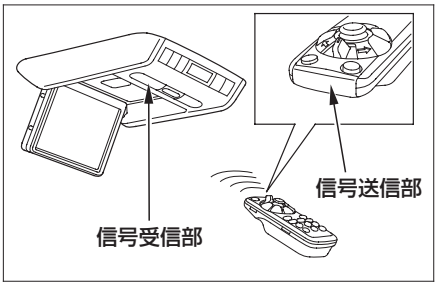
知 識

●リモコンには、精密な電子部品が組み込まれています。リモコンの故障を防ぐため、次のことをお守りください。

・直射日光が当たるところやインストルメントパネルの上など、高温になるところに置かないでください。
・衝撃を与えないでください。
・水にぬらさないでください。
・分解しないでください。

●操作のしかた

リモコンの信号送信部を、モニターの信号受信部に向けて操作します。



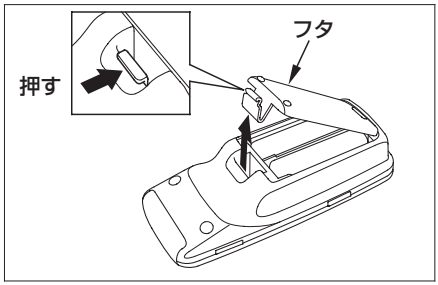
●電池について

リモコンの作動が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられますので、早めに電池を交換してください。

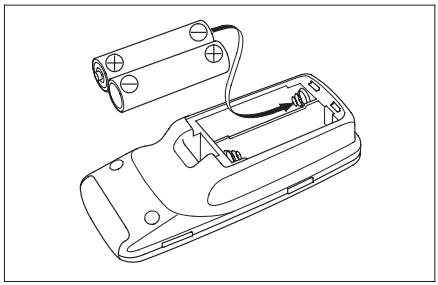
使用電池　単三形乾電池　2個

・交換のしかた

①リモコン裏側のフタを開けます。



②電池を外して、新しい電池を入れます。リモコンの⊕⊖表示にしたがって入れてください。



③フタを閉めます。

ヘッドホンの使いかた

コードレスヘッドホンで、リアエンターテインメントシステムの音声をきくことができます。
また、助手席側サードシートのライニングにステレオミニジャックがあり、お手持ちのヘッドホンを使用することもできます。

ヘッドホンできくことができるモードは下表のとおりです。

モード		ヘッドホン音声出力
DVD	DVD	○
	CD、MP3	○
TV		○
ビデオ		○
前席TV／DVD		×
ナビゲーション		ナビゲーション画面を表示させる前のモードの音声を出力します。

○：音声出力“ON”
×：音声出力“OFF”

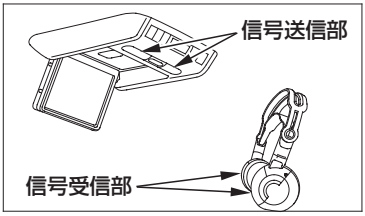
⚠注意

- 運転者は、走行中にヘッドホンを使用しないでください。車外の音が聞こえにくくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●コードレスヘッドホンについて

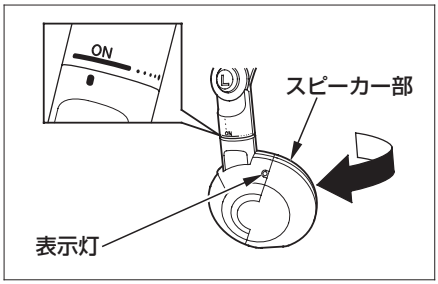
知 識

- コードレスヘッドホンには、精密な電子部品が組み込まれています。コードレスヘッドホンの故障を防ぐため、次のことをお守りください。
  - ・衝撃を与えないでください。
  - ・水にぬらさないでください。
  - ・分解しないでください。
- 赤外線信号の送信部および受信部が遮られた場合、信号を正しく受信できずに音声が聞こえなくなったり、雑音が発生することがあります。



電源の入れかた

左耳のスピーカー部を“ON”の位置までまわして電源を入れます。(表示灯が点灯します。)元に戻すと電源が切れます。

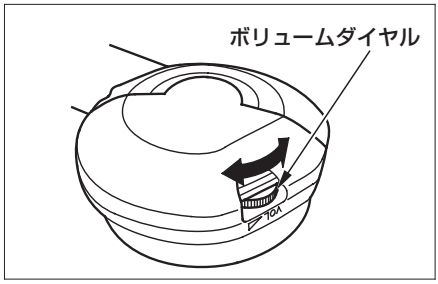


知 識

- ヘッドホンを使用しないときは、スピーカー部が元の位置まで確実に戻っていることを確認してください。元の位置に戻っていないと電源が入ったままになり、電池を消耗するおそれがあります。

音量調節のしかた

ボリュームダイヤルで音量を調節します。



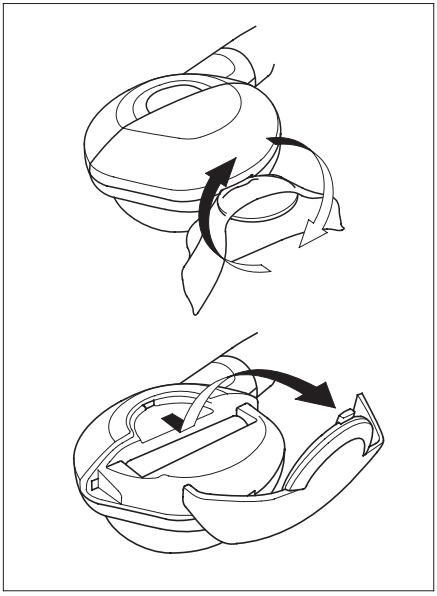
知 識

- ヘッドホンを使うときは、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお使いください。大音量で長時間使用すると、聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。

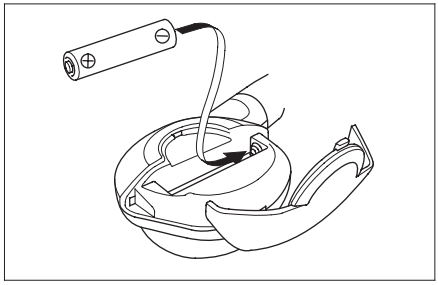
電池の交換のしかた

電池は左耳側にあります。
使用電池　単四形乾電池　1個

①カバーに傷を付けないようにコイン等に布を巻いてカバーを外します。



②電池を外して、新しい電池を入れます。ヘッドホンの⊕⊖表示にしたがって入れてください。



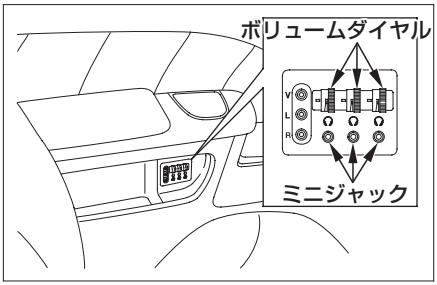
③カバーを取り付けます。

●お手持ちのヘッドホンを使うとき

助手席側サードシートのライニングにステレオ出力ミニジャック（3個）があります。

①ミニジャックにヘッドホンプラグを接続します。

②ヘッドホンの音量を、それぞれのボリュームダイヤルで調節します。



知 識

- 飲み物がミニジャックやボリュームダイヤル内部に入ると、故障の原因となりますので注意してください。
- ミニジャックを使用中にヘッドホンプラグに体などがぶつかると故障の原因となりますのでご注意ください。
- ヘッドホンを使うときは、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお使いください。大音量で長時間使用すると、聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。

リヤスピーカーについて

車のスピーカーからは、ナビゲーションシステム側の音声のみ出力します。リアエンターテインメントシステムの電源を“ON”にすると自動的にリヤスピーカーの音声出力を“OFF”にします。

初期設定

	車のスピーカー	
	フロント	リヤ
リアエンターテインメントシステム“OFF”	○	○
リアエンターテインメントシステム“ON”	○	×

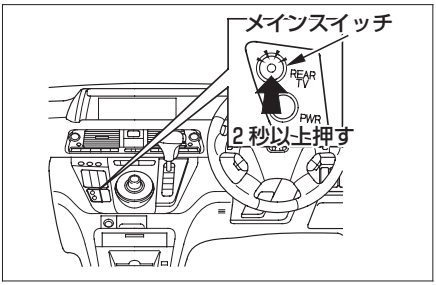
○：音声出力“ON”
×：音声出力“OFF”

知 識

- 前席TV／DVDモードにすると、リヤスピーカーの音声出力は自動的に“ON”になります。
- リアエンターテインメントシステムの音声は、車のスピーカーからは出力されません。

●リヤスピーカーの音声出力を“ON”にするとき

リアエンターテインメントシステムの電源が“ON”のときにメインスイッチを約2秒以上押し続けると、リヤスピーカーの音声出力が“ON”となり、ナビゲーションシステム側の音声を出力することができます。



メインスイッチの操作	車のスピーカー	
	フロント	リヤ
2秒以上押す	○	○
再度2秒以上押す	○	×

○：音声出力“ON”
×：音声出力“OFF”

メインスイッチをもう一度、約2秒以上押し続けると、初期設定に戻ります。

知 識

- 次の場合にもリヤスピーカーの設定は初期設定に戻ります。
  - エンジンスイッチを“0”にしたとき
  - メインスイッチを“OFF”にしたとき
  - リモコンでリアエンターテインメントシステムの電源を“OFF”にしたとき
  - モニターを閉じたとき

画面を調整する

画質の調整、画面モードの設定ができます。

画質を調整する

以下の項目を調整することができます。

・明るさ
・コントラスト
・黒の濃さ
・色合い
・色の濃さ

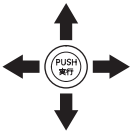
知 識

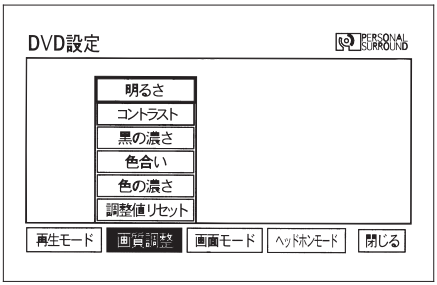
●オーディオCD、MP3音楽ファイルのディスク再生中とナビゲーションモードのときは、色合いと色の濃さの調整はできません。

①設定ボタンを押します。

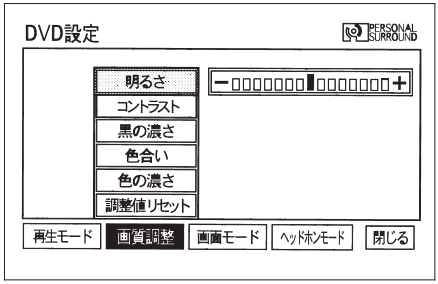
設定

②ジョイスティックを左右に倒して画質調整を選択し、次に上下に倒して調整したい項目を選択し[実行]を押します。





③ジョイスティックを左右に倒してお好みの調整値に設定します。

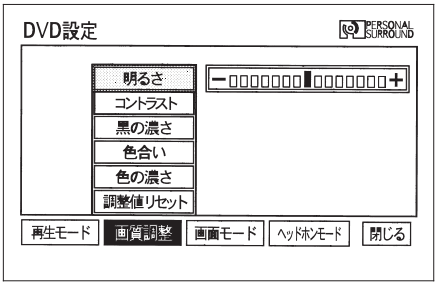


④他の項目を調整するときは[実行]または戻るボタンを押します。

⑤調整画面を消すにはジョイスティックを左右に倒して閉じるを選択して[実行]を押すか、設定ボタンまたは戻るボタンを押します。

明るさ

[＋]側にする毎に全体的に明るくなっていき[－]側にする毎に暗くなっていきます。

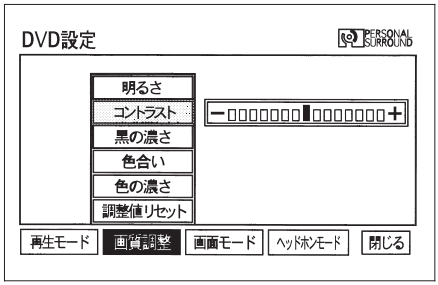


知 識

- 夜間(車幅灯をつけているとき)は、画面の明るさが自動的に減光します。
- 画面の明るさを、車幅灯を消しているときと、つけているときにそれぞれ別々に設定できます。

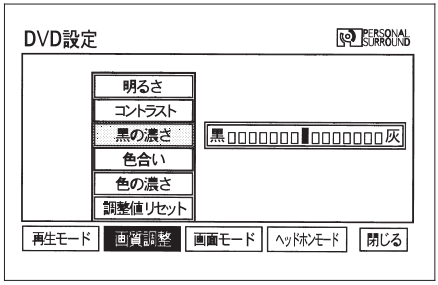
コントラスト

[＋]側にする毎に全体のめりはりが強くなっていき[－]側にする毎に弱くなっていきます。



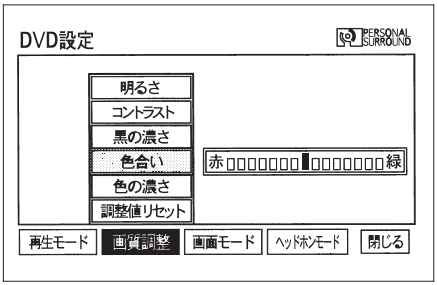
黒の濃さ

[黒]側にする毎に全体の色が黒っぽくなっていき、[灰]側にする毎に灰色っぽくなっていきます。



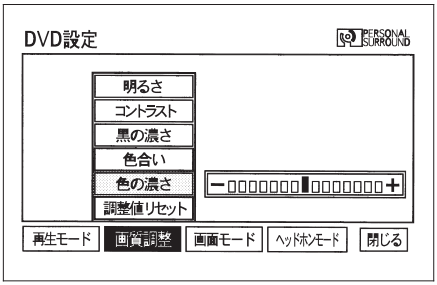
色合い

[緑]側にする毎に緑っぽく変わり、[赤]側にする毎に赤っぽく変わります。



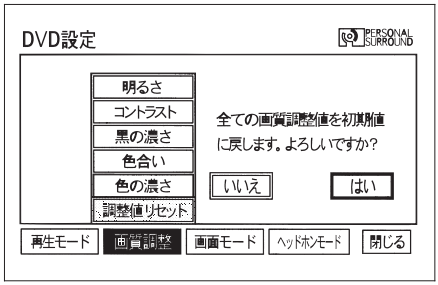
色の濃さ

[+]側にする毎に全体の色が濃くなっていき[−]側にする毎に薄くなっていきます。



調整値リセット

“はい”を選択して[実行]を押すと、すべての調整値を初期値に戻すことができます。



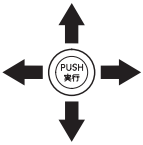
画面モードを設定する

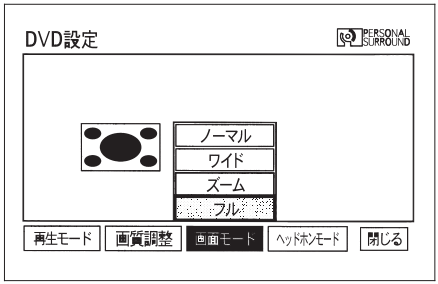
モニターの画面モードを以下のように設定することができます。

・ノーマル
・ワイド
・ズーム
・フル

①設定ボタンを押します。

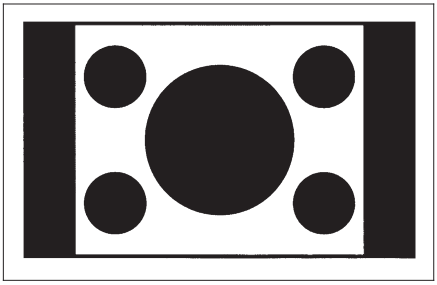
②ジョイスティックを左右に倒して画面モードを選択し、次に上下に倒してモードを選択し[実行]を押します。





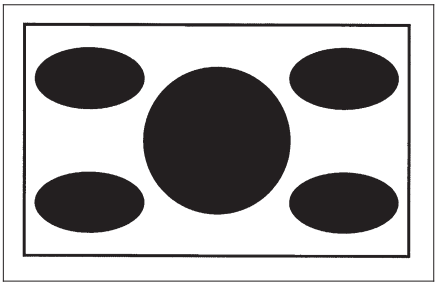
③設定画面を消すには、ジョイスティックを左右に倒して閉じるを選択して[実行]を押すか、設定ボタンまたは戻るボタンを押します。

ノーマル
映像が 4 ： 3 の比率で表示され両端に黒い帯がつきます。元の映像が16： 9 のサイズの場合は 4 ： 3 に収縮されて表示されます。



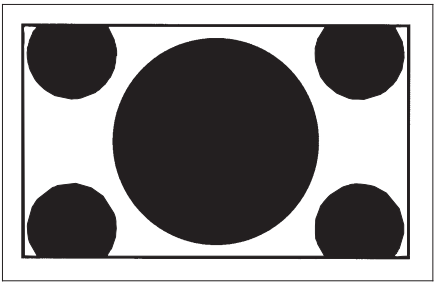
※図は 4：3 の映像です。

ワイド
元の映像が 4 ： 3 の標準サイズの場合、中心部はそのままで、端部が外方向に引き伸ばされた映像が表示されます。元の映像が16： 9 の場合、中心部が中心方向に圧縮され、端部が外方向に引き伸ばされた映像が表示されます。



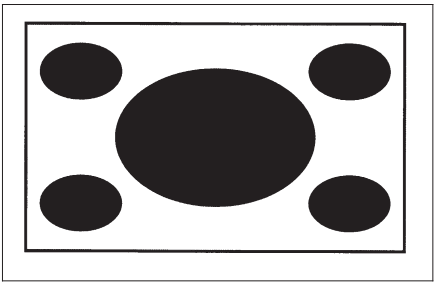
※図は 4：3 の映像です。

ズーム
映像が上下方向に引き伸ばされて表示されます。 4 ： 3 および16： 9 の映像は上下が切れて表示されます。



※図は 4：3 の映像です。

フル
映像が画面全体に表示されます。



※図は 4：3 の映像です。

知 識

- ディスクに記録されている映像の形式により、画面の映りかたが異なります。
  下表を参考に画面モードを設定してください。

映像の形式	お勧め画面
4 : 3	ノーマル画面またはワイド画面
16 : 9	フル画面
レターボックス	フル画面またはズーム画面

- DVD設定、TV設定、ビデオ設定または前席TV／DVD設定のとき以外は画面モードの設定はできません。
- 設定画面を表示したとき、背景が青色になっている項目が現在設定されているモードです。
- 設定画面表示中はフル画面が表示されます。設定画面を消すと設定された画面モードに切り換わります。

音場を切り換える

ヘッドホンモードを設定する

リスニングルームできくような音場効果(パーソナルサラウンド)をヘッドホンで楽しむことができ、映画や音楽などの音声をお好みの音場に切り換えることができます。

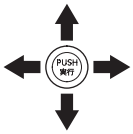
※パーソナルサラウンド:(Personal Surround Technology)
空間音響の研究から生まれた新しいヘッドホン3D再生技術。通常のヘッドホンで頭の外に開放感のある3D音場を再現。リスニングルームのサラウンド音響をどこでも手軽に楽しむことができます。

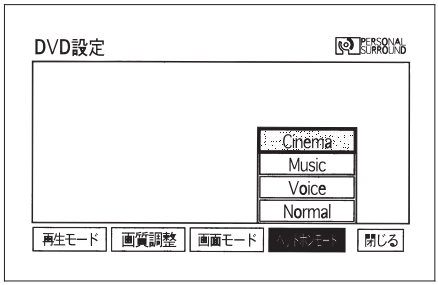
ヘッドホンモードを以下のように設定することができます。

- Cinema
- Music
- Voice
- Normal

①設定ボタンを押します。

②ジョイスティックを左右に倒してヘッドホンモードを選択し、次に上下に倒してモードを選択し[実行]を押します。





③設定画面を消すには、ジョイスティックを左右に倒して閉じるを選択して[実行]を押すか、設定ボタンまたは戻るボタンを押します。

Cinema
映画館のような迫力のある音場を楽しむモードです。広がりのある音声、豊かで迫力のある低音が特徴です。

Music
本格的リスニングルームで最高級オーディオをきくような音場を楽しむモードです。広がりのある音声、素直で自然な音質が特徴です。

Voice
TV番組など人の話し声をきくのに適した音場モードです。明瞭できききやすい音質が特徴です。

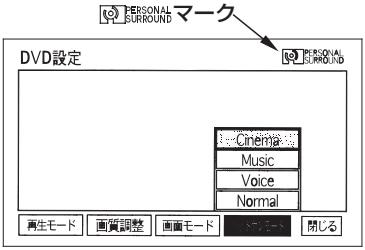
Normal
パーソナルサラウンドによる音場効果がOFFになります。

各モードで別々にヘッドホンモードが設定できます。工場出荷時の設定は下表のとおりです。

DVD モード	DVD再生時	Cinema
	CD/MP3再生時	Music
TVモード		Voice
ビデオモード		Normal

知 識

- 設定画面を表示したとき、背景が青色になっている項目が現在設定されているモードです。
- 設定がCinema、Music、Voiceのときは、画面右上に、PERSONAL SURROUND マークが表示されます。



- 一度電源が切れた場合（車両のバッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど）、ヘッドホンモードの設定が工場出荷時の設定に戻ります。そのときは再度設定操作をしてください。

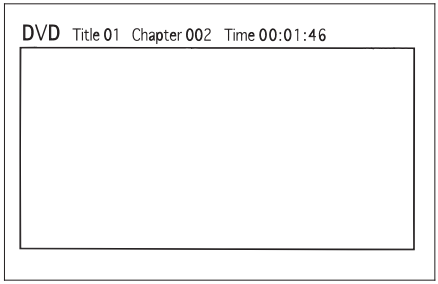
設定表示

各モードの設定状態を表示する

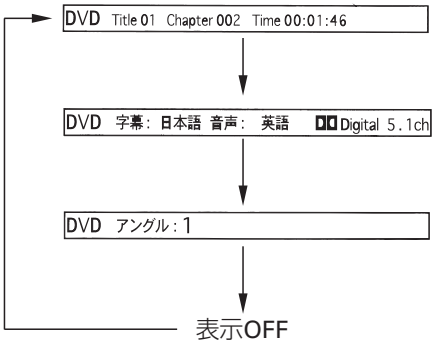
画面上部に各モードの現在の設定状態を表示することができます。

●表示のしかた
画面ボタンを押します。

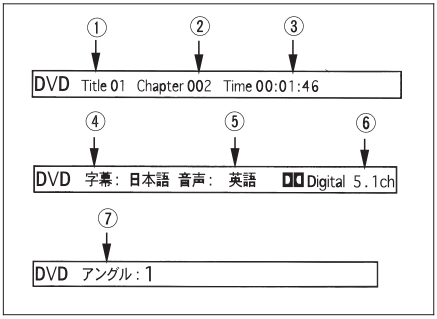
DVDモード



ディスク再生中に画面ボタンを押すたびに以下のように表示が切り換わります。



・画面表示

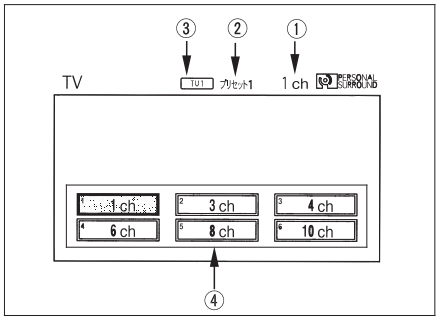


①タイトル番号
　タイトル番号の設定　→46ページ
②チャプター番号
　チャプター番号の設定　→46ページ
③再生時間
④字幕言語
　字幕言語の設定　→48ページ
⑤音声言語
　音声言語の設定　→48ページ
⑥音声属性
　音声の記録方式が表示されます。
　ドルビーデジタル:
　　デジタル音声記録の圧縮方式のこと。音声は最大5.1チャンネルまで再生できます。
　LPCM(リニアPCM):
　　アナログ信号を圧縮せずに記録する方式。
⑦アングル番号
　アングルの設定　→48ページ

TVモード

画面ボタンを押すと、現在選択されているチャンネルとプリセットされているチャンネルが表示されます。
再度画面ボタンを押すと、設定表示が消えます。

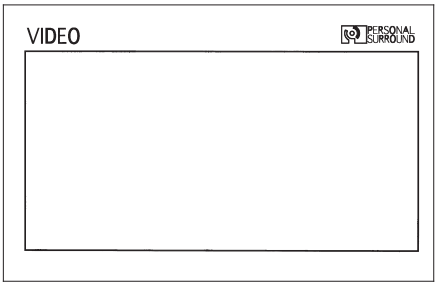
・画面表示



①チャンネル
　選局のしかた　→76ページ
②プリセットメモリー番号
　プリセットメモリーの呼び出しかた　→77ページ
③TV番号
　テレビを見る　→75ページ
④プリセットメモリーのチャンネル
　プリセットメモリーの呼び出しかた　→77ページ

ビデオモード

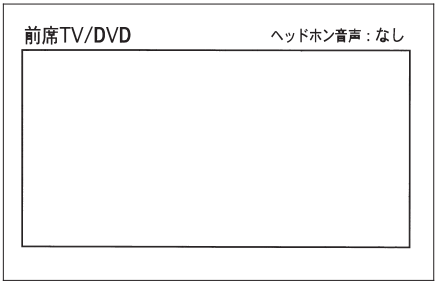
画面ボタンを押すと現在の設定が表示されます。



再度画面ボタンを押すと設定表示が消えます。

前席TV／DVDモード

画面ボタンを押すと現在の設定が表示されます。



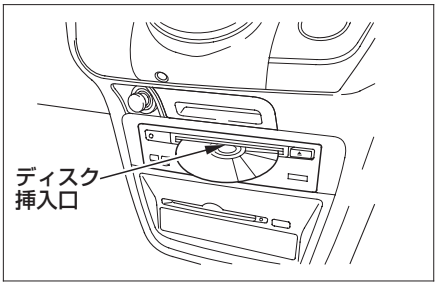
再度画面ボタンを押すと設定表示が消えます。

ディスクの取り扱いについて

ディスクを入れる／取り出す

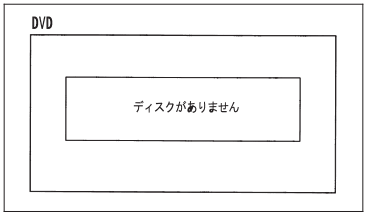
●挿入するとき

エンジンスイッチが“ I ”または“II”のときに操作できます。
ラベル面を上にしてディスク挿入口に挿入します。途中まで差し込むと、自動的に引き込まれます。



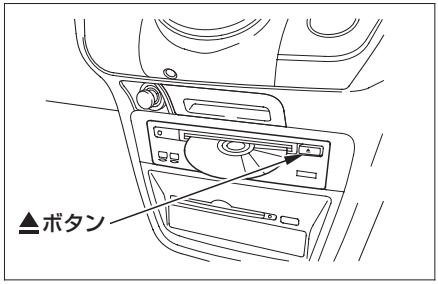
知 識

- ディスクが入っていないときはモニターに“ディスクがありません”と表示されます。



●取り出すとき

▲ボタンを押してディスクを取り出します。エンジンスイッチが“ 0 ”のときや、リアエンターテインメントシステムの電源が“OFF”の場合でも▲ボタンを押せばディスクを取り出すことができます。



知 識

- ディスクが引き込まれているときや取り出されているときに無理にディスクを押し込んだり、引き出したりしないでください。故障の原因になります。

ディスクの正しい使いかた

●取り扱い上のご注意

・ディスクの信号面に指紋等の汚れがつくと、読みとれなくなることがあります。ディスクを持つときは、信号面を触らないように、両側を挟むように持つか中央の穴と端を挟んで持つようにしてください。
・ディスクには紙やシールを貼り付けたり、キズをつけたりしないでください。
・ディスクが入っているときにディスクをもう一枚差し込むと、ディスクを傷つけたり、故障の原因となります。

●お手入れについて

・ディスクの信号面は定期的にクリーニングしてください。クリーニングする場合は柔らかい布で内側から外側へ軽く拭いてください。（円周に沿って拭かないでください。）
・新しいディスクにはディスクの外周や中心の穴にバリが残っている場合がありますので確認してください。バリが残っている状態で使用すると誤動作の原因となりますのでボールペンなどでバリを取り除いてください。

●保管上のご注意

・ディスクを取り出したときは、ケースなどに入れて保管してください。
・インストルメントパネルの上など直射日光があたる場所や高温多湿になる場所を避けて保管してください。
・長時間使用しないときは、必ず本機から取り出してください。

●ディスク再生の環境について

・真冬の車内など極度の低温状態でヒーターを入れてすぐご使用になると、ディスクや内部の光学部分に露（水滴）が付き正常に動作しない場合があります。このような場合は、ディスクを取り出してしばらくお待ちになってからご使用ください。
・悪路走行などで激しく振動した場合、映像や音が途切れることがあります。
・ヒビの入ったディスクやそったディスクは使用しないでください。
・ハート形等の異形ディスクや一部透明になっているディスクは使用しないでください。
・8センチCDは使用できません。（8センチCD用アダプターを取り付けても使用しないでください。故障の原因になります。）

再生できるディスクの種類について

●再生できるDVD

・「DVD」ロゴの下に「VIDEO」と表示されているディスク
・リージョン番号に「2」を含むもの、または「ALL」
・NTSC方式で記録されたもの

※本機ではdtsデコーダが内蔵されておりませんので、dtsで記録されたDVDビデオの音声は再生できません。

●DVDに表示されているマークの意味

リージョン番号(地域番号)について

・DVDビデオには再生限定地域が設定されています。再生限定地域はリージョン番号(地域番号)で表示されており、表示された地域以外ではビデオの再生ができません。
・日本のリージョン番号(地域番号)は「2」で、DVDビデオのリージョン番号に「2」または「ALL」が表示されているDVDビデオが本機で再生可能です。

パッケージのマークについて

パッケージに記載されているマークの意味は以下の通りです。

	リージョン番号(再生できる地域番号)
	再生できるアングル数
	表示できる字幕言語数
	再生できる音声言語数
	画面サイズ(アスペクト比：横と縦の比率)の種類

●ディスクの操作について

DVDでは、ディスク製作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル／チャプターの構成上一部の操作ができないことがあります。

このような場合、本機では画面に禁止マークとともに“この操作はできません”と表示されます。

禁止マーク

●著作権について

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

※本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

●再生できるCD

・CDDA（12cm）

・CD-R/RW

・CD-R/RWディスクでは、ディスク書き込みに使用したメディアおよびレコーダーやレコーディングソフトの状態によっては正しく再生できない場合があります。その場合はご使用になったメディア機器・ソフトの取扱説明書を参照してください。

MP3ファイルについて

本機ではパソコンからCD-R/RWのディスクに書き込まれたMP3形式ファイルを再生することができます。使用できるファイルやメディアには制限がありますので、MP3形式ファイルをディスクに書き込む前に以下の内容をよくお読みください。また、お手持ちのCD-R/RWドライブやレコーディングソフトの取扱説明書もよくお読みになり正しくご使用ください。

●再生できるMP3ファイルについて

再生できるMP3ファイルの仕様は以下のとおりです。

名称	規格	説明
CD-R/RW フォーマット	ISO9660	レベル 1 レベル 2
	ISO9660拡張	Joliet Romeo
MP3再生レート	MPEG-1	32、40、48、56、64、80、96、112、128、160、192、224、256、320kbps
	MPEG-2(LSF)	8 、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128、144、160kbps
ID3-TAG	Ver 1 Ver 1.1 Ver 2.3 Ver 2.4	曲名・アーティスト名・アルバム名の情報を表示できます。 ※文字コードが、ASCIIコード以外の場合は正しく認識されません。

知 識

- 複数のセッションが記録されたマルチセッションディスクを再生することができます。
- マルチセッションで記録したディスクはすべてのデータが再生されない場合があります。
- セッションの追記が可能なディスクも再生できます。

●MP3について

・MP3ファイル内には曲名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名等の情報が“ID3-Tag”と呼ばれるデータで記録されており、モニター等でその情報を表示することができます。
・MP3が再生可能なプレーヤーであればパソコン同様にフォルダ単位で認識することができフォルダごとに曲（MP3ファイル）を選択できます。

知 識

●記載している規格以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

●フォルダとMP3ファイルについて

・フォルダは 8 階層まで認識することができます。
・MP3以外のファイルに拡張子「.mp3」を付けないでください。そのようなファイルが書き込まれたディスクは再生できません。

知 識

●パソコンのOSの種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子がつかない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子「.mp3」を追記してからディスクに書き込んでください。

ディスクを再生する

DVDビデオを見る

●再生のしかた

ディスクが入っていないとき
ディスクを挿入すると、自動的に再生します。

ディスクが入っているとき
DVDボタンを押すと再生します。

知 識

- DVD再生中にモニターを閉じた場合は、再度モニターを開くと自動的に再生します。
- ディスクを再生するとモニター画面にタイトルメニューやメインメニューが表示される場合があります。

タイトルメニュー／メインメニューについて　→45ページ

●停止するとき

④ ボタンを押すと停止します。もう一度再生を始めるには、⑪ ボタンを押します。

リジューム機能について
再生中に停止するとその位置を記憶します。これをリジューム機能といいます。
停止状態から再生ボタンを押すと、停止したところから再生が始まります。
停止状態でもう一度停止ボタンを押したり、初期設定の言語設定を変更したとき、またはディスクを取り出したときなどはリジューム機能はキャンセルされます。

●一時停止するとき

①ボタンを押すと一時停止されます。再び再生するときはもう一度①ボタンを押します。

●早送り／早戻しするとき

⑥／⑤ボタンを押し続けると、早送り／早戻しになります。

早送り

早戻し

●スキップ／リプレイするとき

③／②ボタンを押すとスキップ（先のチャプターの頭出し）／リプレイ（再生中や前のチャプターの頭出し）になります。

スキップ

リプレイ

再生モードの切り換え

ディスク再生中に以下の項目を切り換えたり、表示したりできます。

・トップメニュー
・音声
・字幕
・アングル
・サーチ
・数字入力

知 識

- 操作ができないボタンを押したときは画面右上に“⃠この操作はできません”と表示されます。
- 再生モードで選択した内容は、再生中のディスクでのみ有効です。
- 初期設定機能メニューで設定した内容はシステムの電源を切ったときや、他のディスクを入れ換えたときでも継続されます。

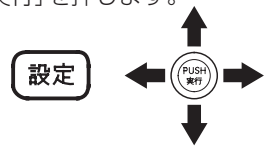
初期設定機能について →61ページ

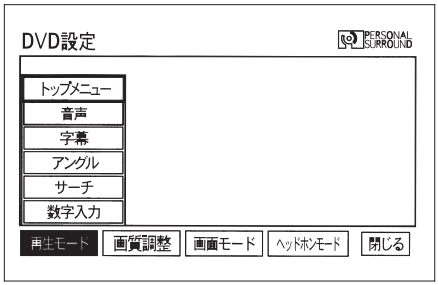
●タイトルメニュー／メインメニューを表示する

DVDビデオに記録されている情報はいくつかに区切られており、その1つ1つにタイトルが設定されています。さらに1つのタイトルもいくつかに区切られており、その1つ1つをチャプターと言います。

①再生中にメニューボタンを押します。

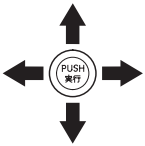
または、設定ボタンを押し、ジョイスティックを左右に倒して再生モードを選択し、次に上下に倒してトップメニューを選択し[実行]を押します。





②タイトルメニューまたはメインメニューが表示されます。

ジョイスティックを上下左右に倒してメニューを選択し、[実行]を押します。



メインメニュー

チャプターメニュー

音声解説

予告編

音声・字幕メニュー

知 識

- 表示されるメニューや内容はディスクによって異なります。表示にしたがって操作してください。
- ディスクによっては再生モードからトップメニューを選択する操作ができないことがあります。

●チャプター／タイトル番号を指定してスキップする

チャプター／タイトル番号を入力することで、お好みのチャプター／タイトルから再生することができます。

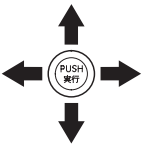
以下の項目から設定することができます。

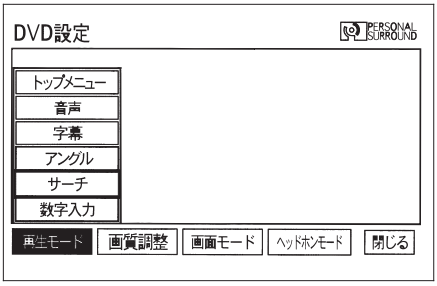
・サーチ
・数字入力

サーチ

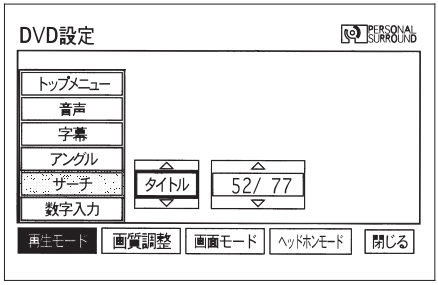
①ディスクの再生中に設定ボタンを押します。

②ジョイスティックを左右に倒して再生モードを選択し、次に上下に倒してサーチを選択し、[実行]を押します。

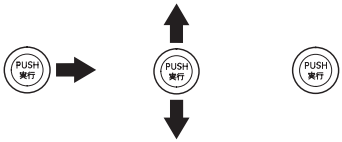




③ジョイスティックを上下に倒して、チャプターまたはタイトルを選択します。



④ジョイスティックを右に倒し、次に上下に倒してチャプター／タイトル番号を入力し、[実行]を押します。



⑤設定画面を消すには設定ボタンまたは戻るボタンを押します。

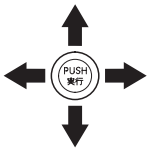
知 識

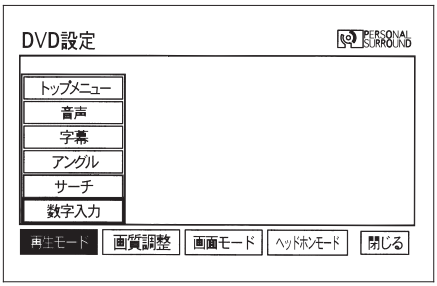
- チャプター／タイトル番号はディスクに付属している取扱説明書をご覧ください。
- タイトルメニューやメインメニューが表示されているときはサーチ操作はできません。

数字入力

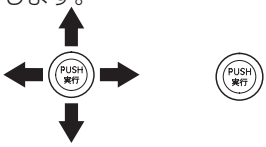
①ディスクの再生中に設定ボタンを押します。

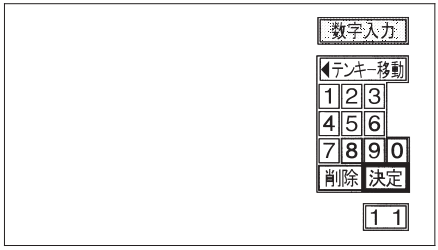
②ジョイスティックを左右に倒して再生モードを選択し、次に上下に倒して数字入力を選択し[実行]を押します。





③ジョイスティックを上下左右に倒して設定したいタイトルやチャプターの数字を入力し[実行]を押します。
入力した数字を訂正するときは削除を選択して[実行]を押すか、戻るボタンを押します。





④決定を選択し[実行]を押します。(数字を2桁入力したときは、自動的に決定が選択されます。)設定画面が消えます。
数字入力の途中で設定画面を消すには設定ボタンまたは戻るボタンを押します。

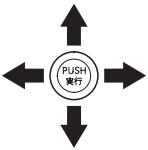
知 識

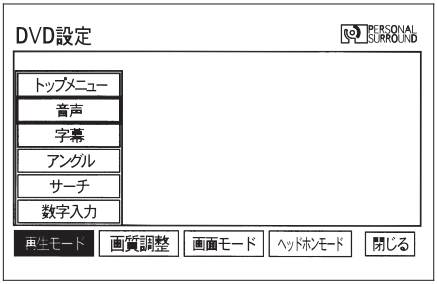
- 指定できる数字はディスクによって異なります。付属の取扱説明書をご覧ください。
- テンキー移動を選択して[実行]を押すと、数字入力の表示位置を左右に移動することができます。

●音声／字幕／アングルを切り換える

①ディスクの再生中に設定ボタンを押します。

②ジョイスティックを左右に倒して再生モードを選択し、次に上下に倒して切り換えたい項目を選択し[実行]を押します。



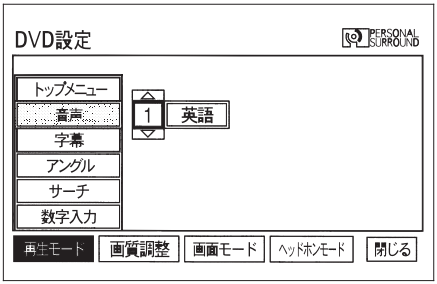


③設定画面を消すには設定ボタンまたは戻るボタンを押します。

音声

ディスクに記録されている音声の言語を切り換えることができます。

①ジョイスティックを上下に倒して、音声言語を切り換えます。



②音声の設定画面を消すには[実行]または戻るボタンを押します。

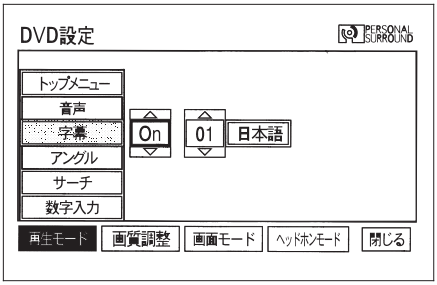
知 識

- 音声の言語が切り替わるまでに少し時間がかかることがあります。

字幕

ディスクに記録されている字幕の言語を切り換えることができます。
“Off”にすると字幕を非表示にすることができます。

①ジョイスティックを上下に倒して、“On”または“Off”を選択します。



②ジョイスティックを右に倒します。

③ジョイスティックを上下に倒すと字幕の言語が切り換わります。

④字幕の設定画面を消すには[実行]または戻るボタンを押します。

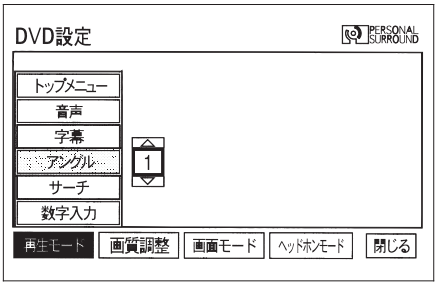
知 識

- 字幕の言語が切り替わるまでに少し時間がかかることがあります。

アングル

マルチアングルで記録されたDVDビデオでは、お好みのアングルで見ることができます。
マルチアングルとは、１つの場面をいろいろなアングルで見る機能です。好きなアングル(例えば、右から見た映像と左から見た映像)を切り換えて見ることができます。

①ジョイスティックを上下に倒して、アングルを切り換えます。



②アングルの設定画面を消すには、[実行]または戻るボタンを押します。

知 識

- アングルが切り換わるまでに少し時間がかかることがあります。
- マルチアングルが可能な場面ではアングルマークを表示させることができます。
  アングルマーク →66ページ
- マルチストーリーで記録された場面ではアングルマークが表示されますが(アングルマーク表示が“On”のとき)アングルを切り換えることはできません。
  マルチストーリーとは、複数のストーリー展開が同時に記録されていて、ストーリーの途中で撰択肢を選びながら進めていくような機能です。

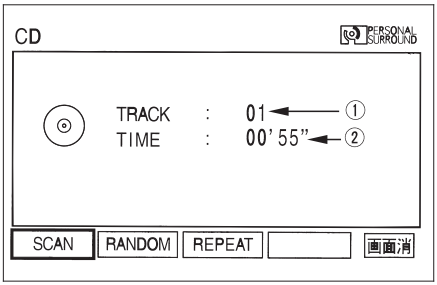
オーディオCDをきく

●再生のしかた

ディスクが入っていないとき
ディスクを挿入すると、自動的に再生します。

ディスクが入っているとき
DVDボタンを押すと再生します。

画面表示



①トラック番号
②再生時間

知 識

- 最後の曲の再生が終わると、1曲目に戻って再生を続けます。

●早送り／早戻しするとき

⑥ ／ ⑤ ボタンを押し続けると、早送り／早戻しになります。

早戻し　　早送り

●スキップ／リプレイするとき

③ ／ ② ボタンを押すとスキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(再生中や前の曲の頭出し)になります。

リプレイ　　スキップ

●ききたい曲を探すとき(スキャン)

ジョイスティックを左右に倒してSCANを選択し[実行]を押します。(画面上部に"SCAN"が表示されます。)
各曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。

ききたい曲のところで[実行]をもう一度押すと、スキャン再生機能は解除されます。

●ディスクの曲順をランダムに演奏するとき

ジョイスティックを左右に倒してRANDOMを選択し[実行]を押します。(画面上部に"RANDOM"が表示されます。)

ランダム再生の機能を解除するには[実行]をもう一度押します。

●演奏中の曲を繰り返しきくとき(リピート)

ジョイスティックを左右に倒してREPEATを選択し[実行]を押します。(画面上部に"REPEAT"が表示されます。)

リピート再生の機能を解除するには、[実行]をもう一度押します。

●画面の消しかた

ジョイスティックを左右に倒して画面消を選択し[実行]を押します。

画面を再表示させるには、リモコンのライトボタン以外のいずれかのボタンを押します。

MP3ディスクをきく

CD-R、CD-RWに書きこまれたMP3形式のファイルを再生することができます。

MP3ファイルについて　→39ページ

●再生のしかた

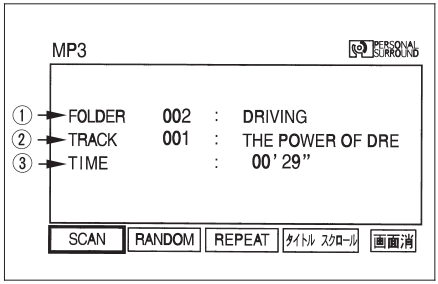
ディスクが入っていないとき

ディスクを挿入すると、自動的に再生します。

ディスクが入っているとき

DVDボタンを押すと再生します。

画面表示



①フォルダ番号

再生順序について　→58ページ

②トラック(ファイル)番号

再生順序について　→58ページ

③再生時間

画面ボタンで表示を切り換えられます。

表示モードの切り換え　→59ページ

知　識

- 最後のフォルダ内のトラック(ファイル)を再生し終わると、最初のフォルダに戻って再生を続けます。
- CD-RおよびCD-RWは書き込みに使用したライティングソフトやディスクの状態によって再生できない場合があります。

●早送り／早戻しするとき

⑥／⑤ボタンを押し続けると、早送り／早戻しになります。

早戻し

早送り

●演奏している曲を換えるとき

③／②ボタンを押すと、スキップ（先の曲の頭出し）／リプレイ（再生中や前の曲の頭出し）になります。

リプレイ

スキップ

●フォルダを選ぶとき

コマンドレバーを左右に倒すと前のフォルダや次のフォルダに切り換わります。

前のフォルダ　次のフォルダ

●ききたい曲を探すとき（フォルダ内スキャン）

ジョイスティックを左右に倒してSCANを選択し[実行]を押します。（画面上部に“SCAN”が表示されます。）
再生中の曲と同じフォルダ内にあるすべての曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。

ききたい曲のところで[実行]をもう一度押すと、スキャン再生機能は解除されます。

●同じフォルダ内の曲順をランダムに演奏するとき（フォルダ内ランダム）

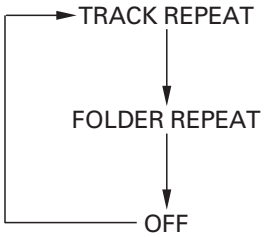
ジョイスティックを左右に倒してRANDOMを選択し[実行]を押します。（画面上部に“RANDOM”が表示されます。）

ランダム再生の機能を解除するには[実行]をもう一度押します。

●演奏中の曲を繰り返しきくとき（トラックリピート、フォルダリピート）

ジョイスティックを左右に倒してREPEATを選択し[実行]を押します。

[実行]を押すたびに次のように切り換わります。（画面上部に“TRACK REPEAT”／“FOLDER REPEAT”が表示されます。）



TRACK REPEAT:
再生中の曲を繰り返し再生します。
FOLDER REPEAT:
再生中のフォルダ内の曲を繰り返し再生します。
OFF:
繰り返し再生の機能を解除します。

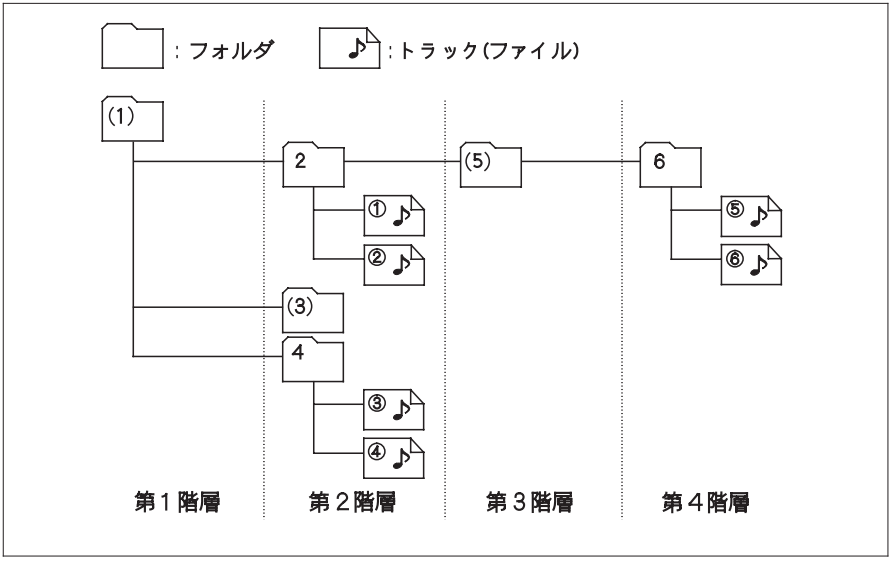
●画面の消しかた

ジョイスティックを左右に倒して画面消を選択し[実行]を押します。

画面を再表示させるには、リモコンのライトボタン以外のいずれかのボタンを押します。

●MP3トラック(ファイル)の再生順序について

フォルダおよびMP3トラック(ファイル)の再生順序は図の通りです。



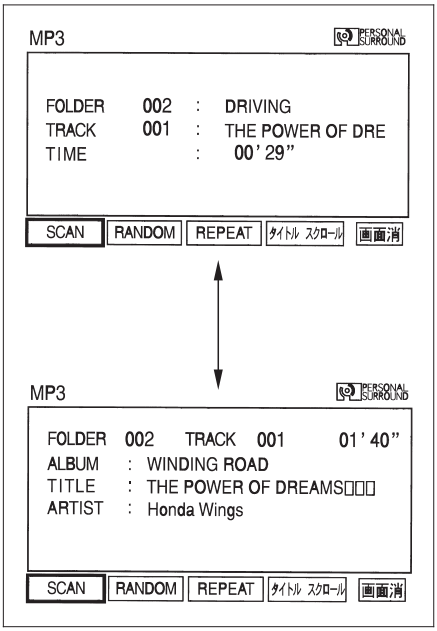
ディスク内のすべてのフォルダにフォルダ番号を付けます。
図のようなフォルダ／トラック(ファイル)構成のディスクの場合、(1)、(3)、(5)のフォルダはMP3トラック(ファイル)を含まないため、フォルダ番号は表示されますが、操作はできません。

知 識

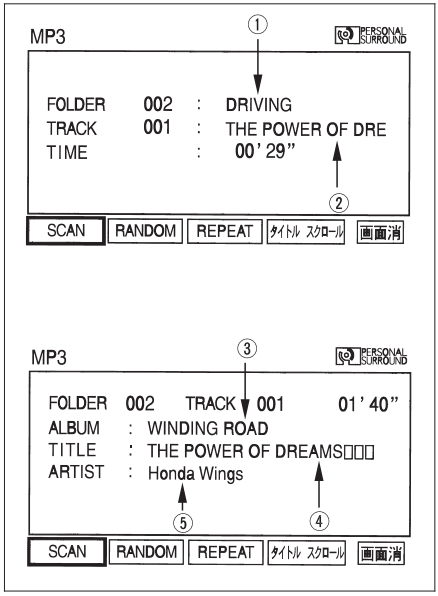
- 同一階層内のフォルダやトラック(ファイル)はライティングソフトによってディスクに書き込まれた順序で再生します。
- 最大 8 階層255フォルダ、合計512トラック(ファイル)まで再生できます。
- ディスクの構成によっては読み込み時間が長くなることがあります。

●表示モードの切り換え

ディスク再生中に画面ボタンを押すたびに以下のように表示が切り換わります。



画面表示



①フォルダ名(16文字まで表示)
②トラック(ファイル)名(16文字まで表示)
③アルバム名(24文字まで表示)
④タイトル(ファイル)名(24文字まで表示)
⑤アーティスト名(24文字まで表示)

●タイトルスクロール

フォルダやファイル名に入力されている名称が画面に表示できる文字数よりも多い場合は、画面をスクロールさせて表示させることができます。
ジョイスティックを左右に倒してタイトルスクロールを選択し[実行]を押します。

タイトルスクロールの機能を解除するにはもう一度[実行]を押します。

知 識

- MP3ファイル内にはタイトル(曲名)／アーティスト名／アルバム名等の情報が“ID3-TAG”と呼ばれるデータで記録されており、モニター等でその情報を確認することができます。
  MP3ファイルについて →39ページ
- 入力されている情報が全角文字(英、数、カタカナ)やひらがな、漢字の場合は“□”で表示されます。

知 識

- 画面に名称が表示しきれない場合、次の操作をしたときは自動的にタイトルを1回スクロールします。
  - 他モードからMP3の再生モードに移ったとき。
  - 各トラックの曲の始め。
  - 画面ボタンを押して表示モードを切り換えたとき。

初期設定機能について

DVDビデオを再生するときの音声や字幕の言語、音声の種類などの初期設定を行うことができます。初期設定を行うことでDVDビデオ再生中に字幕等の切り換えを毎回行わなくても済みます。初期設定では、以下の項目を設定することができます。

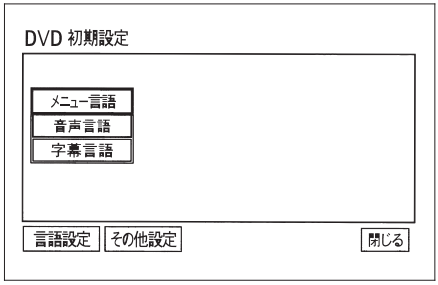
・メニュー言語
・音声言語
・字幕言語
・ダイナミックレンジ
・アングルマーク
・視聴制限
・パスワード設定

知 識

- ディスクによっては、音声言語等の設定がされているものがあります。その場合は、ソフトの設定が優先されます。
- 初期設定の言語設定を変更すると、リジューム機能は解除されます。
  リジューム機能について →42ページ
- 一度電源が切れた場合（車両のバッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど）、アングルマーク表示、パスワード設定を除く各設定は工場出荷時の設定に戻ります。そのときは再度設定操作をしてください。

●メニュー言語

タイトルメニューやメインメニューで表示される言語を設定します。



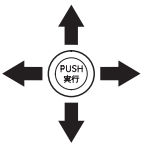
設定できる言語は以下の通りです。

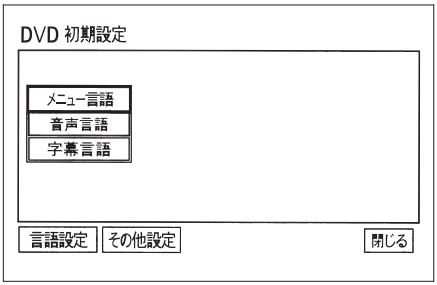
・日本語
・英語
・フランス語
・スペイン語
・ドイツ語
・イタリア語
・オランダ語
・その他

設定のしかた

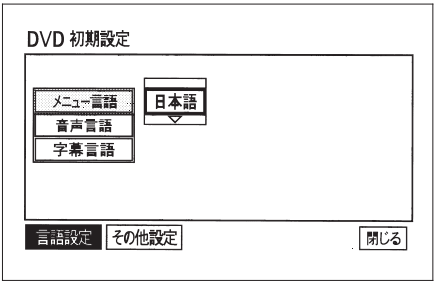
①ディスク停止中、またはディスクが入っていない状態のときに、設定ボタンを押します。

②ジョイスティックを左右に倒して言語設定を選択し、次に上下に倒してメニュー言語を選択し[実行]を押します。





③ジョイスティックを上下に倒して設定したい言語を選択し、[実行]を押します。



④設定画面を消すときはジョイスティックを左右に倒して閉じるを選択して[実行]を押すか設定ボタンまたは戻るボタンを押します。

知 識

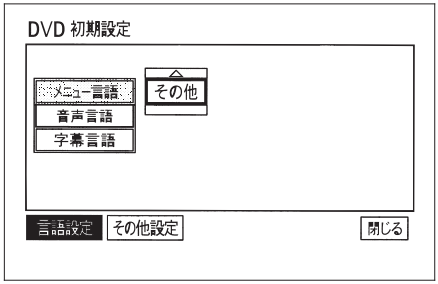
- 言語を選択した状態で戻るボタンを押すと言語を変更せずに前の画面に戻ります。
- ディスクによっては言語の設定ができないものがあります。

「その他」の言語を設定するとき

言語コード一覧表のコードを入力すると、日本語、英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、イタリア語、オランダ語以外の言語を設定することができます。

言語コード一覧表　→88ページ

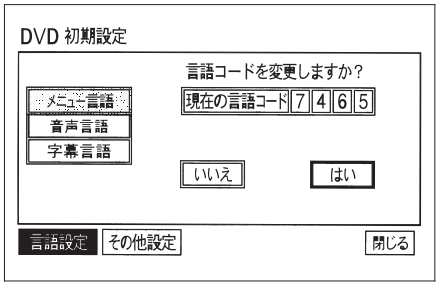
①ジョイスティックを上下に倒してその他を選択し[実行]を押します。



②ジョイスティックを左右に倒してはいまたはいいえを選択し[実行]を押します。

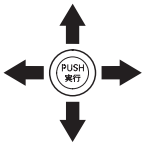
はい：言語コード入力画面へ進む

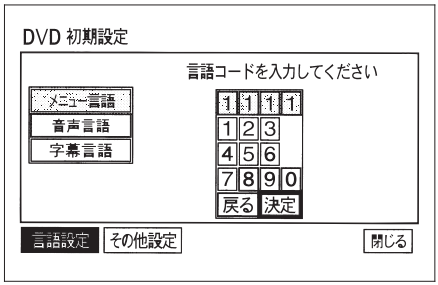
いいえ：言語設定画面へ戻る



③ジョイスティックを上下左右に倒して数字を選択し[実行]を押して選択したい言語コードを入力します。

入力した数字を訂正するときは戻るを選択して[実行]を押します。





④決定を選択して[実行]を押すと、入力したコードの言語が設定されます。

⑤設定画面を消すときはジョイスティックを左右に倒して閉じるを選択して[実行]を押すか設定ボタンまたは戻るボタンを押します。

知 識

- 選択した言語がディスクに収録されていない場合、言語の切り換えはできません。
- 「その他」以外の言語を選択すると、入力した言語コードは消去されます。

●音声言語

DVDビデオ再生中の音声(セリフ等)の言語を設定します。設定のしかたはメニュー言語と同様です。

メニュー言語　→61ページ

●字幕言語

DVDビデオ再生中の字幕の言語を設定します。設定のしかたはメニュー言語と同様です。

メニュー言語　→61ページ

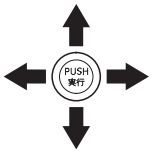
●ダイナミックレンジ

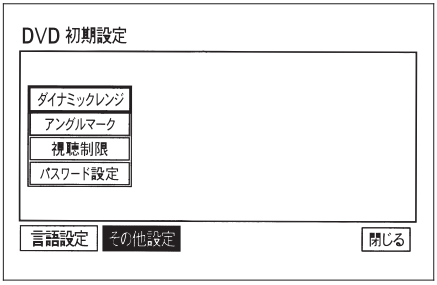
音の大小の差を縮める調整を行います。
（ダイナミックレンジコントロール）
DVDビデオ再生中の音声を圧縮するかしないかを設定します。“On”にすると大きい音のレベルを下げ、小さい音のレベルを上げるのできききやすくなります。

設定のしかた

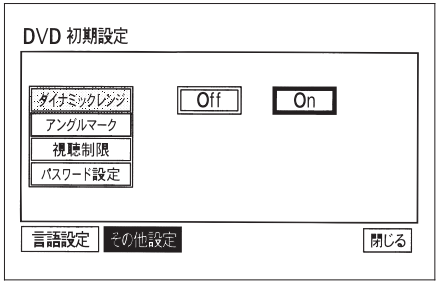
①ディスク停止中、またはディスクが入っていない状態のときに、設定ボタンを押します。

②ジョイスティックを左右に倒してその他設定を選択し、次に上下に倒してダイナミックレンジを選択し[実行]を押します。





③ジョイスティックを左右に倒して“On”または“Off”を選択します。



④[実行]を押すと設定が変更されます。

⑤設定画面を消すときはジョイスティックを左右に倒して閉じるを選択して[実行]を押すか設定ボタンまたは戻るボタンを押します。

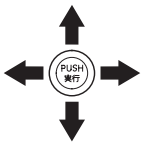
●アングルマーク

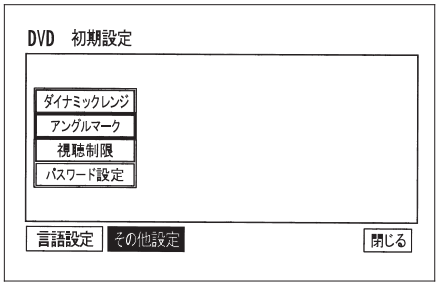
アングルマークの表示／非表示を設定します。“On”にするとマルチアングルが可能なときに画面右上にアングルマークが表示されます。

設定のしかた

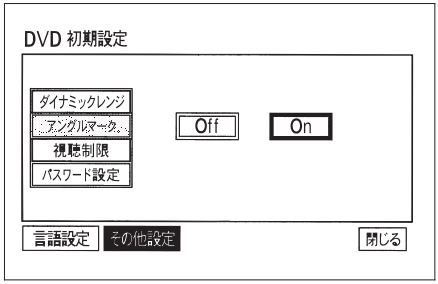
①ディスク停止中、またはディスクが入っていない状態のときに、設定ボタンを押します。

②ジョイスティックを左右に倒してその他設定を選択し、次に上下に倒してアングルマークを選択し[実行]を押します。





③ジョイスティックを左右に倒して“On”または“Off”を選択します。

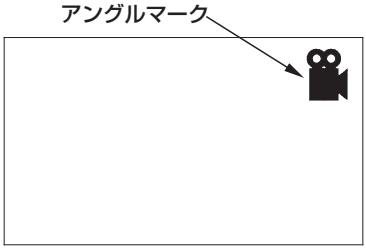


④[実行]を押すと設定が変更されます。

⑤設定画面を消すときはジョイスティックを左右に倒して閉じるを選択して[実行]を押すか設定ボタンまたは戻るボタンを押します。

知 識

- マルチアングルが可能なときに画面右上にアングルマークが表示されます。



- マルチアングルで記録されていないDVDディスクは表示アングルを切り換えることができません。
- アングルマークが非表示の状態でもアングルは切り換えることができます。

アングル →51ページ

●視聴制限

視聴制限はレベルを設定することにより見るシーンを制限することができます。レベル 8 が一番制限が緩く、レベル 1 が一番きつくなります。

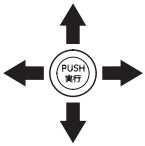
知 識

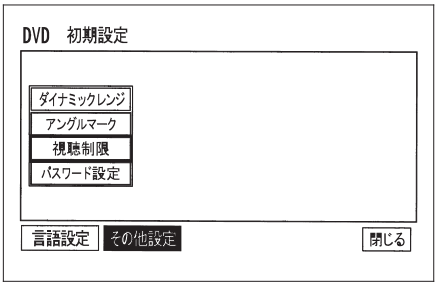
- ディスクによっては視聴制限に対応していないものもあります。

設定のしかた

①ディスク停止中、またはディスクが入っていない状態のときに、設定ボタンを押します。

②ジョイスティックを左右に倒してその他設定を選択し、次に上下に倒して視聴制限を選択し[実行]を押します。

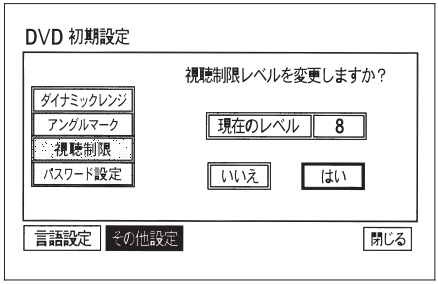




③ジョイスティックを左右に倒してはいまたはいいえを選択し[実行]を押します。

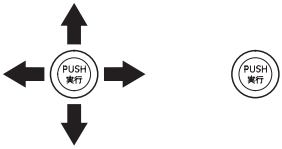
はい：次の画面へ進む

いいえ：その他の設定画面へ戻る

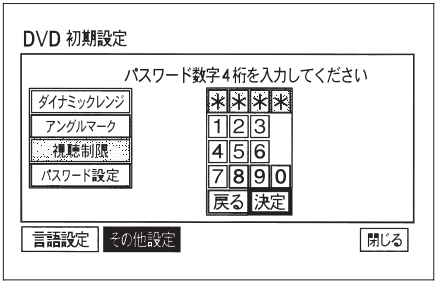


④ジョイスティックを上下左右に倒して数字を選択し[実行]を押してパスワードを入力します。

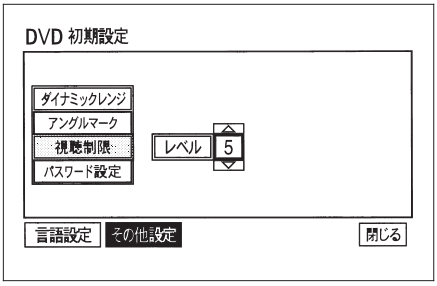
パスワードの設定　→70ページ



⑤ジョイスティックを左右に倒して決定または戻るを選択し[実行]を押します。
決定：次の画面へ進む
戻る：その他設定の画面へ戻る



⑥ジョイスティックを上下に倒してレベルを選択し[実行]を押すと設定が変更されます。



⑦設定画面を消すときはジョイスティックを左右に倒して閉じるを選択して[実行]を押すか設定ボタンまたは戻るボタンを押します。

・視聴制限の一時解除

ディスク再生中に視聴制限の設定された場面でパスワードを入力すると一時的に視聴制限を解除することができます。

①ディスク再生中に視聴が制限された場面になると、画面に「パスワード数字4桁を入力してください」と表示されます。

②パスワードを入力し、決定を選択して[実行]を押します。

知 識

- 視聴制限の一時解除は再生中のディスクのみ有効です。
- 正しいパスワードが入力されないと、画面に「パスワードが違います」と表示され、再生できなくなります。この場合は一旦ディスクを取り出してから再生してください。

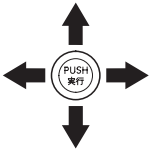
●パスワード設定

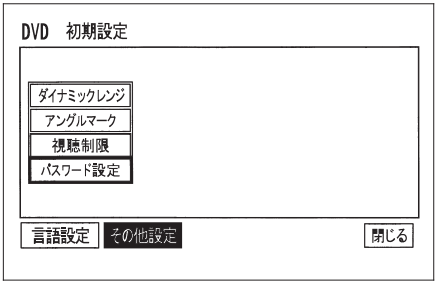
視聴制限の設定をするときに必要になるパスワードの設定をします。
設定したパスワードは変更することができます。初期設定は「1111」になっています。

設定のしかた

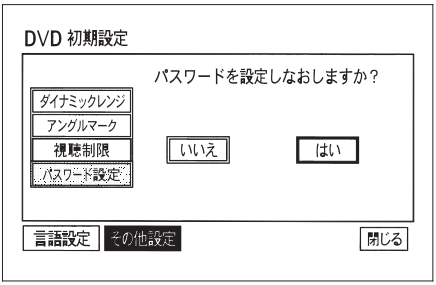
①ディスク停止中、またはディスクが入っていない状態のときに、設定ボタンを押します。

②ジョイスティックを左右に倒してその他設定を選択し、次に上下に倒してパスワード設定を選択し[実行]を押します。

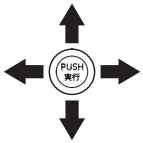




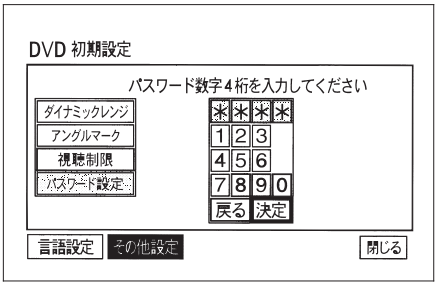
③ジョイスティックを左右に倒してはいまたはいいえを選択し[実行]を押します。
はい：次の画面へ進む
いいえ：その他の設定画面へ戻る



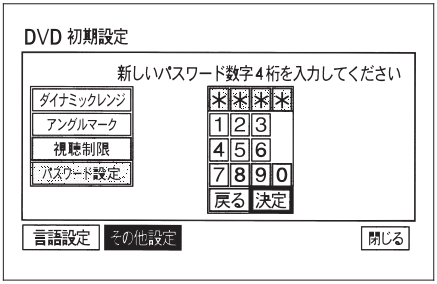
④ジョイスティックを上下左右に倒して数字を選択し[実行]を押してパスワードを入力します。



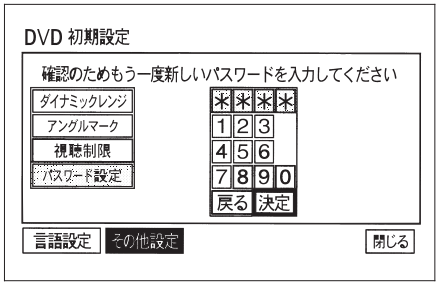
⑤ジョイスティックを左右に倒して決定または戻るを選択し[実行]を押します。
決定：次の画面へ進む
戻る：その他設定の画面へ戻る



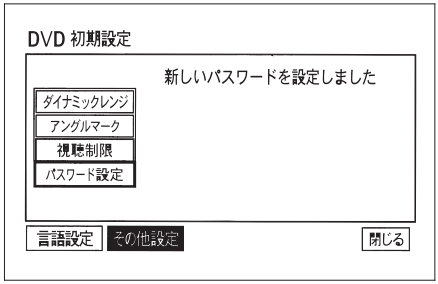
⑥手順④、⑤の操作を繰り返して新しく設定したいパスワードを入力します。



⑦手順④、⑤の操作を繰り返してもう一度新しいパスワードを入力します。



⑧パスワードが正しく入力されると画面に“新しいパスワードを設定しました”と表示されます。



知 識

- パスワードが正しく入力されないと画面に“パスワードが違います”と表示されます。この場合、正しいパスワードを入力し直して操作を続けてください。

・パスワードを忘れたとき

①パスワードの設定画面を表示します。

パスワードの設定　→70ページ

②ジョイスティックを上に10回倒します。

③画面に“パスワードを工場出荷状態に戻しますか?”と表示されたら、ジョイスティックを左右に倒して「はい」を選択し[実行]を押します。

④パスワードが初期設定に変更され、画面に“パスワードを工場出荷状態に戻しました”と表示されます。

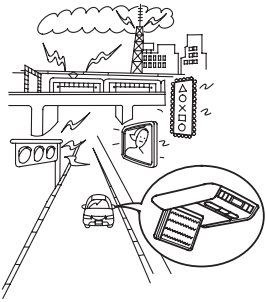
テレビの操作

テレビの受信について

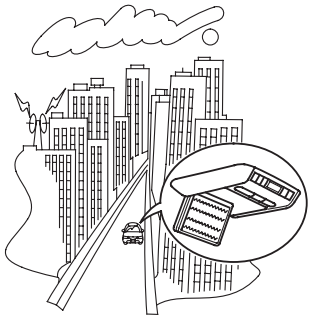
テレビの受信は、車の走行にともない受信状態が変わったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持できない場合があります。

知 識

- 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くでは、画像が乱れたり雑音が入ることがあります。



- ラジオ放送やアマチュア無線用の送信アンテナ、鉄塔の近くでは、画像が乱れたり雑音が入ることがあります。
- 直進性の強い電波のため、建物や山などの障害物があると受信状態が悪くなることがあります。

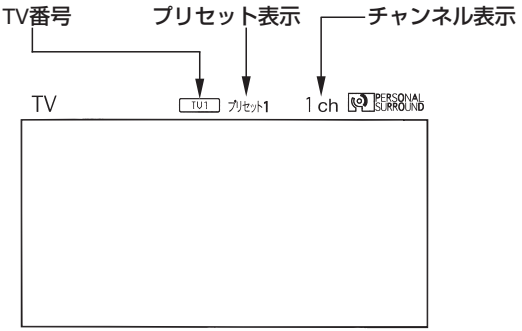


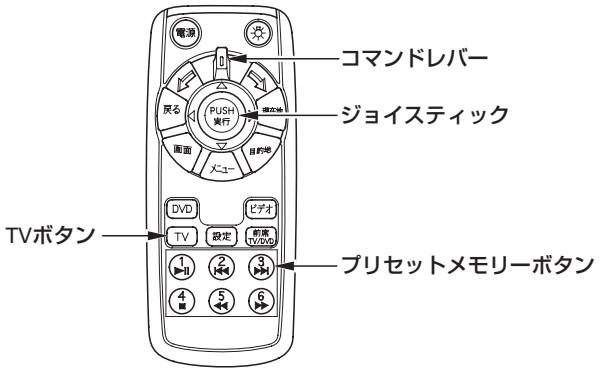
- 放送局から遠いところでは、電波が弱くなり受信状態が悪くなります。

テレビを見る

●テレビを見る

①TVボタンを押してTV1またはTV2を選択します。
②チャンネルを選局します。 選局のしかた →76ページ
③あらかじめ放送局をセットしておくと、プリセットメモリーボタンやジョイスティックを操作して、プリセットされたチャンネルを呼び出すことができます。
プリセットメモリーの呼び出しかた →77ページ





選局のしかた

・コマンドレバー

①コマンドレバーを左右に倒してすぐに放すとチャンネルが１つずつ切り換わります。

②コマンドレバーを左右に少しの間倒したままにしてから放すと自動選局になります。チャンネルが自動的に切り換わり、放送を受信すると選局機能が解除されます。

③コマンドレバーを左右に倒したままにすると、手動選局になります。レバーを倒している間チャンネルが連続して切り換わります。レバーを放すと選局機能が解除されます。

・ジョイスティック

①ジョイスティックを上下に倒してすぐに放すと自動選局になります。チャンネルが自動的に切り換わり、放送を受信すると選局機能が解除されます。

②ジョイスティックを上下に倒したままにすると、手動選局になります。ジョイスティックを倒している間チャンネルが連続して切り換わります。ジョイスティックを放すと選局機能が解除されます。

●テレビを消す

①電源ボタンを押して電源を切るか、モニターを収納します。

モニターの収納のしかた　→8ページ

知　識

●テレビを見ているときにモニターを収納した場合は、再度モニターを開けると、テレビが表示されます。

●プリセットメモリーの呼び出しかた

ジョイスティック

ジョイスティックを左右に倒すと記憶されたチャンネルが１つずつ切り換わります。

画面ボタン

画面ボタンを押すと記憶されたチャンネルが表示されます。プリセットメモリーボタンを押すか、ジョイスティックを上下左右に倒してチャンネルを呼び出すことができます。

プリセットメモリーボタン

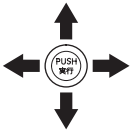
プリセットメモリーボタンを押すと、各ボタンに記憶されたチャンネルを呼び出すことができます。

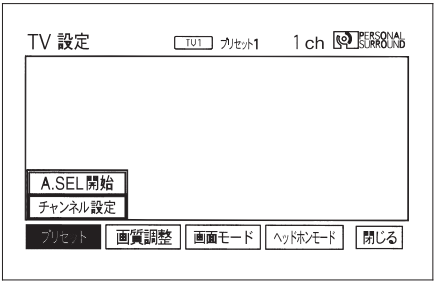
●プリセットメモリーのセットのしかた

①TVボタンでTV1またはTV2を選びます。

②設定ボタンを押します。

③ジョイスティックを左右に倒してプリセットを選択し、次に上下に倒してチャンネル設定を選択します。





④[実行]を押します。

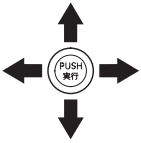
⑤選局します。

選局のしかた　→76ページ

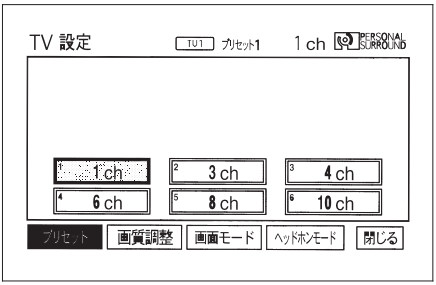
知 識

- プリセットメモリーのセット中の選局にはジョイスティックは使用できません。

⑥ジョイスティックを上下左右に倒して記憶させたいプリセットチャンネルを選択します。



⑦プリセットチャンネルの表示が変わるまで[実行]を押してセットします。TV1に6局、TV2に6局まで記憶できます。



⑧設定画面を消すときはジョイスティックを左右に倒して閉じるを選択して[実行]を押すか設定ボタンまたは戻るボタンを押します。

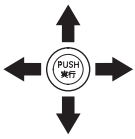
●自動で放送局を記憶するには（オートセレクト）

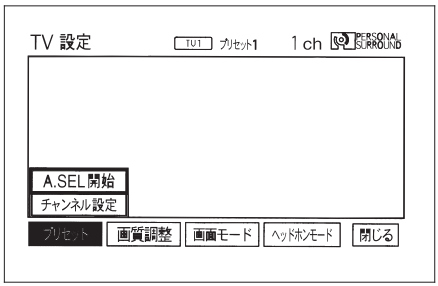
放送局の違う地域へ出かけたときなど、記憶したチャンネルが映らないことがあります。このようなときは、自動選局（オートセレクト）でその地域のチャンネルを記憶させて使用できます。

①TVボタンでTV1またはTV2を選びます。

②設定ボタンを押します。

③ジョイスティックを左右に倒してプリセットを選択し、次に上下に倒してA.SEL開始を選択します。





④[実行]を押します。

⑤自動選局された電波の強い放送局が、周波数の低い順からプリセットメモリーボタンに自動的に記憶されます。

解除するときは、手順①から③をくり返し、A.SEL解除を選択して[実行]を押します。解除すると、プリセットメモリーボタンの記憶はオートセレクトをする前の状態に戻ります。

知 識

- プリセットメモリーボタンは6つありますが、記憶されたチャンネルが5局以下のときは、残りのボタンには何も記憶されません。チャンネルを記憶していないボタンを押すと、“0ch”と表示されます。
- 自動選局したチャンネルは、プリセットメモリーのチャンネルとは別に記憶されます。
- 自動選局された放送局を個別に変更することもできます。
- 一度電源が切れた場合（車両のバッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど）、自動選局（オートセレクト）で記憶したチャンネルは消去されます。そのときは再度記憶操作をしてください。

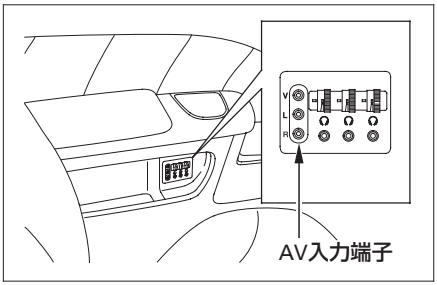
ビデオ機器などの接続

AV入力端子

助手席側サードシートのライニングにAV入力端子があります。ビデオ機器やゲーム機などを接続して使用することができます。

①AV入力端子にビデオなどを接続します。

黄：映像
白：音声　左
赤：音声　右



②ビデオボタンを押してビデオモードにします。

③接続した機器を操作します。

知　識

- 飲み物や異物が入力端子に入ると、故障の原因となりますので注意してください。
- AV入力端子を使用中に接続したプラグに体などがぶつかると故障の原因となりますのでご注意ください。

前席のTV／DVD映像を見る

前席TV／DVDモード

前席（ナビゲーションシステム）のテレビやDVDビデオの映像を表示することができます。

前席TV／DVDボタンを押します。

知 識

- 前席TV／DVDモードのときは、ヘッドホンから音が出ません。
- ナビゲーションシステムでオーディオやサウンドコンテナを再生中のときは、後席モニターに“前席がTV／DVDでないため映像を表示できません”と表示されます。
- 前席TV／DVDモードのときに、ディスクを挿入するとDVDモードに切り換わります。

ナビゲーション画面を操作する

ナビゲーションモード

前席のナビゲーションシステムの画面をリアエンターテインメントシステムのモニターに表示してリモコンで操作することができます。

●後席操作モードについて

前席のナビゲーションシステムで後席操作モードをON／OFFできます。
後席操作モードON…リモコンで操作できます。
後席操作モードOFF…リモコンで操作できません。

後席操作ONのとき

①現在地ボタンを押すとナビゲーションシステムの現在地画面が表示されます。

②ナビゲーション画面を操作します。詳しい操作については別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をご覧ください。

ボタンの使いかた　→86ページ

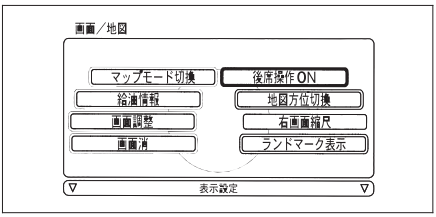
後席操作OFFのとき

①前席ナビゲーションシステムの画面ボタンを押します。

ボタンの使いかた　→86ページ

②コマンドホイールを回して後席操作ONを選択し[実行]を押します。

ボタンの使いかた　→86ページ



画面に“後席操作が可能です”と表示され、リモコンでのナビゲーション画面の操作が可能になります。

③ナビゲーション画面を操作します。詳しい操作については別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をご覧ください。

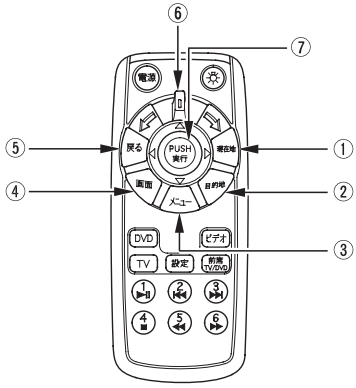
ボタンの使いかた　→86ページ

知 識

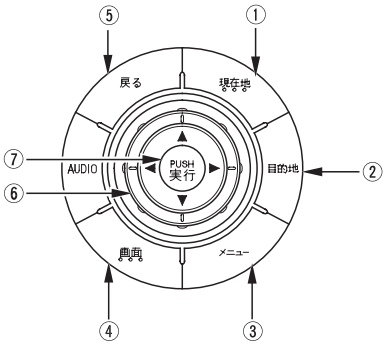
- 後席モニターでナビゲーション画面表示中に前席モニターの表示がナビゲーション画面以外に移ったとき、“前席がナビゲーション映像ではないため表示できません”と表示されます。
- 後席操作モードOFFの場合、前席モニターの表示がナビゲーション画面以外のときにリモコンの現在地ボタンを押すと“前席がナビゲーション映像ではないため表示できません”と表示されます。
- 後席操作モードOFFで前席モニターの表示がナビゲーション画面のときに、リモコンの現在地ボタンを押すと“前席の映像を表示します”と表示しナビゲーション画面が表示されます。
- 後席操作モードOFFで前席モニターの表示がナビゲーション画面のときに、リモコンの現在地、目的地、メニュー、画面、戻るボタン、またはジョイスティック、コマンドレバーを操作すると“後席操作OFFのため、ナビゲーションの操作はできません”と表示されます。
- エンジン始動直後は、ナビゲーションシステムが起動するまで“前席がナビゲーション映像ではないため表示できません”と表示されます。
- エンジン始動直後は、ナビゲーションシステムが起動するまで現在地、目的地、メニュー、画面、戻るボタン、またはジョイスティック、コマンドレバーを操作すると“「後席操作OFF」またはナビゲーション準備中のため、操作はできません”と表示されます。

●ボタンの使いかた

前席操作パネルのボタンとリモコンのボタンの対応は次のようになっています。



リモコン



前席操作パネル

①現在地ボタン
現在地の地図画面を表示します。
ナビゲーション以外の画面から、ナビゲーション画面に戻ることもできます。

②目的地ボタン
目的地の設定メニューを表示します。

③メニューボタン
各種の設定メニューを表示します。

④画面ボタン
画面表示に関するメニューを表示します。

⑤戻るボタン
操作をやめて前の画面に戻ります。

⑥コマンドレバー(リモコン)／コマンドホイール(前席操作パネル)
メニュー画面やリスト画面の項目や機能の選択(カーソル移動)に使います。
また地図スケールの切り換えや音量や色合いなど、調節画面でも使います。

⑦ジョイスティック
地図のスクロール(8方向ー上下・左右・右上・右下・左上・左下)に使います。
[実行]
メニュー画面などで選んだ項目や機能の実行に使います。

言語コード

言語コード一覧表

言語名／言語コード		入力コード
Japanese	ja	7465
English	en	6978
French	fr	7082
German	de	6869
Italian	it	7384
Spanish	es	6983
Dutch	nl	7876
Russian	ru	8285
Chinese	zh	9072
Korean	ko	7579
Greek	el	6976
Afar	aa	6565
Abkhazian	ab	6566
Afrikaans	af	6570
Amharic	am	6577
Arabic	ar	6582
Assamese	as	6583
Aymara	ay	6589
Azerbaijani	az	6590
Bashkir	ba	6665
Byelorussian	be	6669
Bulgarian	bg	6671
Bihari	bh	6672
Bislama	bi	6673
Bengali; Bangla	bn	6678
Tibetan	bo	6679
Breton	br	6682
Catalan	ca	6765
Corsican	co	6779
Czech	cs	6783
Welsh	cy	6789

言語名／言語コード		入力コード
Danish	da	6865
Bhutani	dz	6890
Esperanto	eo	6979
Estonian	et	6984
Basque	eu	6985
Persian	fa	7065
Finnish	fi	7073
Fiji	fj	7074
Faroese	fo	7079
Friesian	fy	7089
Irish	ga	7165
Scots-Gaelic	gd	7168
Galician	gl	7176
Guarani	gn	7178
Gujarati	gu	7185
Hausa	ha	7265
Hindi	hi	7273
Croatian	hr	7282
Hungarian	hu	7285
Armenian	hy	7289
Interlingua	ia	7365
Interlingue	ie	7369
Inupiak	ik	7375
Indonesian	in	7368
Icelandic	is	7383
Inuktitut	iu	7385
Hebrew	iw	7269
Yiddish	ji	8973
Javanese	jw	7487
Georgean	ka	7565
Kazakh	kk	7575

言語名／言語コード		入力コード
Greenlandic	kl	7576
Cambodian	km	7577
Kannada	kn	7578
Kashmiri	ks	7583
Kurdish	ku	7585
Kirghiz	ky	7589
Latin	la	7665
Lingala	ln	7678
Laothian	lo	7679
Lithuanian	lt	7684
Latvian, Lettish	lv	7686
Malagasy	mg	7771
Maori	mi	7773
Macedonian	mk	7775
Malayalam	ml	7776
Mongolian	mn	7778
Moldavian	mo	7779
Marathi	mr	7782
Malay	ms	7783
Maltese	mt	7784
Burmese	my	7789
Nauru	na	7865
Nepali	ne	7869
Norwegian	no	7879
Occtian	oc	7967
Oromo	om	7977
Oriya	or	7982
Punjabi	pa	8065
Polish	pl	8076
Pashto, Pushto	ps	8083
Portuguese	pt	8084
Quechua	qu	8185
Rheato-Romance	rm	8277

言語名／言語コード		入力コード
Kirundi	rn	8278
Romanian	ro	8279
Kinyarwanda	rw	8287
SanSkrit	sa	8365
Sindhi	sd	8368
Sangho	sg	8371
Serbo-Croatian	sh	8372
Singhalese	si	8373
Slovak	sk	8375
Slovenian	sl	8376
Samoan	sm	8377
Shona	sn	8378
Somali	so	8379
Albanian	sq	8381
Serbian	sr	8382
Siswaiti	ss	8383
Sesotho	st	8384
Sundanese	su	8385
Swedish	sv	8386
Swahili	sw	8387
Tamil	ta	8465
Telugu	te	8469
Tajik	tg	8471
Thai	th	8472
Tigrinya	ti	8473
Tukmen	tk	8475
Tagalog	tl	8476
Setswana	tn	8478
Tonga	to	8479
Turkish	tr	8482
Tsonga	ts	8483
Tatar	tt	8484
Twi	tw	8487

言語名／言語コード		入　力 コード
Uighur	ug	8571
Ukrainian	uk	8575
Urdu	ur	8582
Uzbek	uz	8590
Vietnamese	vi	8673
Volapunk	vo	8679
Wolof	wo	8779
Xhosa	xh	8872
Yoruba	yo	8979
Zhuang	zh	9065
Zulu	zu	9085

困ったときの手引き

故障かなと思ったときには、対処のしかたを参考に、まず確認してください。
処置をしても直らないときは、Honda販売店で点検を受けてください。

●共通項目

症状	原因	対処の仕方	参照ページ
電源が入らない。	エンジンスイッチ“I”または“II”になっていない。メインスイッチを押していない。	エンジンスイッチを“I”または“II”にしてください。メインスイッチを押してシステムの電源を“ON”にしてください。	6
画像が出ない。	モニターは正しい角度に開いていますか。	モニターの角度を120°以下にしてください。	7
	モニターの表示を消していませんか。	リモコンのライトボタン以外のいずれかのボタンを押してください。	53、57
画面が暗い、または白っぽい。	画質調整が正しくされていますか。	明るさ、コントラスト、黒の濃さ調整をしてください。	20
色が薄い。 色合いが悪い。	色合い、色の濃さ調整が正しくされていますか。	色合い、色の濃さ調整をしてください。	20
画面に色の縞模様が出たり、色が消える。	ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナの近くを走行しているとき。 車内で携帯電話や無線器を使用していると、画面に色の縞模様が出たり、雑音が出ることがあります。		

症状	原因	対処のしかた	参照ページ
リモコンがきかない。	乾電池が消耗しています。	乾電池を交換してください。	13
	乾電池の極性を間違えて入れてませんか。	乾電池を入れ直してください。	
	リモコンを信号受信部に向けて操作していますか。	リモコンを信号受信部に向けて操作してください。	
	リモコンと本機の間に障害物がありませんか。	障害物を避けて、本機の信号受信部にあたるよう操作してください。	
コードレスヘッドホンの電源が入らない。	乾電池が消耗しています。	乾電池を交換してください。	16
	乾電池の極性を間違えて入れてませんか。	乾電池を入れ直してください。	
コードレスヘッドホンの音が出ない。	ボリュームが小さくなっていませんか。	音量調節をしてください。	15
	ヘッドホンとを左右逆につけていませんか。	ヘッドホンの左右を確認して装着してください。	14
	コードレスヘッドホンと本機の間に障害物がありませんか。	信号の送信部および受信部の間の障害物を避けてください。	
	前席TV／DVDモードになっていませんか。	前席TV／DVDモード時の音声は車両のスピーカーでお聞きください。	82

●DVDモード

症状	原因	対処のしかた	参照ページ
ディスクを再生できない。	ディスクは入っていますか。	ディスクを挿入してください。	34
	違う種類のディスクが入っていませんか。	本機で再生できるディスクを挿入してください。	36
	ディスクが裏返しになっていませんか。	ディスクのラベル面を上にして挿入してください。	34
	視聴制限が設定されていませんか。	視聴制限を解除するか、レベルを変更してください。	67
	車内が高温になっていませんか。	車内の温度を下げてください。	—
画像、音声が乱れる。	ディスクが汚れていませんか。	ディスクの記録面をクリーニングしてください。	35
	ディスクに傷がありませんか。	ディスクを交換してください。	—
	ディスクに結露が起きていませんか。	結露を除去してください。	35

症状	原因	対処のしかた	参照ページ
コードレスヘッドホンの音が出ない。	ディスクが一時停止になっていませんか。	一時停止を解除してください。	43
	ディスクが早送り、早戻しなどの特殊操作をしていませんか。	通常再生をしてください。	42

●テレビの映像について

受信状態によっては、映像が映りにくいことがあります。
つぎのような状態があります。

症状	車両の状態
画面がゆれる。 雑音が出る。 画像が二重、三重になる。	ビルとビルの間を走行しているとき。 飛行機が飛んでいるとき、電車の近くを走行しているとき。 送電線の付近を走行しているとき。 山かげ、木かげにはいったとき。 放送局から遠いとき。
画面にはん点がでる。	交通量の多い道路、高圧線、ネオンサインなどの近くを走行しているとき。
テレビの映りがだんだん悪くなり、雑音が出る。 色が出たり、消えたりする。	山かげ、放送局から遠いところを走行しているときや停電しているとき。 トンネル内を走行しているとき。

●地上アナログテレビジョン放送から地上デジタルテレビジョン放送への移行について

地上デジタルテレビジョン放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログテレビジョン放送は2011年７月に終了することが、国の方針として決定されています。

●アナログテレビジョン放送のチャンネル変更について

アナログテレビジョン放送チャンネルの変更は順次行われるため、記憶されたチャンネルが受信できなくなる場合があります。この場合は、もう一度再設定を行ってください。放送局名は、本体に収録されている放送局名の情報をもとに表示するため、放送局名が正しく表示されなくなる場合があります。

本リアエンターテインメントシステムは、地上デジタルテレビジョン放送には対応しておりません。

HONDA

The Power of Dreams

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、
Honda販売店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」
をご覧ください。

30SJK800
00X30-SJK-8000

©2004本田技研工業株式会社